



大阪市立大学 同窓会報

有恒 yuko

2019 July vol.18

●有恒会(商・経・法・文・創 同窓会) ●理学部同窓会 ●工学部同窓会 ●医学部同窓会 ●生活科学部同窓会 ●よつば会(看護系同窓会)



大阪市中央公会堂(中之島)

ざっくばらん 関西の名物花形アナウンサー

朝日放送 三代澤康司さん(商昭59卒)

市大出身の社長さんご紹介 話題の新薬開発で大躍進

小野薬品工業 代表取締役社長 相良 暁さん(商昭58卒)

Osaka City University Alumni

ロケ地：オオサカホイール（日本最大級の高さ123m。全ゴンドラがシースルー。設計・制作、阪和興業。）

ハートを動かす、商社へ。

鉄鋼を中心に、金属原料、非鉄金属、食品、
石油・化成品、木材、機械など。
私たちは、世界中の「モノ」を動かしながら、
その先にある感動をうみだすことを心がけています。

STEADY SPEEDY STRATEGIC
SUSTAINABLEな収益体质と経営基盤の強化

 阪和興業株式会社

目 次

新大学法人の理事長を拝命して	公立大学法人大阪 理事長 西澤良記	2
市大偉人列伝 岩本栄之助 大阪市中央公会堂を造った男		3
特別インタビュー「ざっくばらん」	朝日放送株式会社 三代澤康司	4
市大出身の社長さんご紹介	小野薬品工業株式会社 相良 曜	6
広報課 大学サポーター交流室より		7
学園だより		
大学ニュース		8
公立大学法人大阪の発足に当たり 神田幹夫		
国際交流の取り組みについて 鶴田大輔		
就職活動支援について 池山尚高		
大学及び学生の行事・催事		9
平成30年度卒業式・平成31年度入学式／戦没学友の碑献花の集い／広報課より／大学人事一覧		
日中大学学生芸術交流展／ふたば祭 特別プログラム		
市大の思い出		11
クラブ紹介 よさこいサークル／ギターマンドリンクラブ／青桃会		14
企業で活躍する若手卒業生から現役学生へ!		16
同窓会ニュース		18
シスターフッドプログラム／女性部会(WPC)ニュース／よつば会講演会		
悠々忌及び「開高さんを偲ぶ会ト里斯パーと開高健一」開催／第7回開高健闘西悠々会 総会・講演会・懇親会		
第8回大阪市立大学卒業生のためのビジネス交流会／工学部同窓会第30回評議員会		
第13回全国支部代表者会議開催／生活科学シンポジウム／平成31年度医学部新入生入学祝賀会		
大阪医史蹟巡り		22
論壇・随想		24
「最後のフロンティア」アフリカとの出会い／社会で自立して生きるということ／宮中歌会始に入選して		
平成最後の建白書／マカオの挑戦／大阪都構想について／大阪市大の淵源は五代友厚と福澤諭吉		
同窓短信		30
上栗絵梨香(法平27卒)／土田聰子(生平5卒)／真田哲章(経平25卒)／堂本秀美(法平14卒)		
中村祐子(文平27卒)／大森崇史(工院平25修)／松井みさき(経平7卒)		
リレーマガジンから勉強会まで－東京有恒会の活動－		32
支部だより		33
静岡／北陸／富山／福井／愛知／大阪北／北摂／神戸／宝塚／神戸・姫路しらさぎ合同／奈良／徳島／湘南		
熊本／長崎／石川／支部連絡先一覧表		
会員のひろば クラブOB会／同期会／ゼミOB会／同好会		39
大阪市立大学での看護教育の歴史(上)		50
「アドバンス・ケア・プランニング」を知っていますか?		51
現代結婚事情レポート 株式会社ブライダル		52
同窓生の図書紹介		54
追悼のことば		56
各学部同窓会及び本部事務局のお知らせ		57
投稿規定		59
掲載広告一覧・編集後記		60

新大学法人の理事長を拝命して

公立大学法人大阪 理事長 西澤良記



旧公立大学法人大阪府立大学と旧公立大学法人大阪市立大学の新設の法人合併により2019年4月1日に設立され、新たなスタートを切りました。新大学の法人名は「公立大学法人大阪」と命名され、「University Public Corporation Osaka, UPC Osaka」と欧文表記します。私は荒川現学長・理事長の前任者として、大阪市立大学の学長・理事長を務めさせていただき、ちょうど私の任期の2年目から大学統合への道を歩み始めたこともあり、私に新大学の理事長を拝命するという榮に浴することになりました。

本法人は、これまでの優秀な人材の育成と研究成果の還元を基に、大阪の成長に大きく寄与してきた大阪府立大学、大阪市立大学及び大阪府立大学工業高等専門学校を法人統合することにより、2大学・1高専のシナジー効果を発揮することが期待され、重点的な目標として位置付ける「先端的・異分野融合型研究の推進による高度研究型大学の実現」、「応用力や実践力を備えた国際力豊かな高度人材の育成」、「都市問題の解決や産業競争力の強化による大阪の発展への貢献」の実現を図って参りたいと考えております。

2大学・1高専における、これまでの様々な取組みや活動成果をしっかりと継承・発展させるとともに、「都市シンクタンク」と「技術インキュベーション」の二つの新たな機能を強化・充実することにより、大阪における知の拠点を目指し、2025年の万博の開催にも貢献できるのではないかと模索いたしております。

さらに、大学業務における連携・共同化等、大阪府立大学と大阪市立大学との統合による新大学実現に向けた準備を進め、理系、文系、医療系の幅広い学術体系を擁する総合大学として世界トップクラスの研究成果を示し、世界中から優秀な学生・教員が集う場とし、一つの新たな法人のもとガバナンスを強化し、新しい価値を創造することにより、両大学と高専のさらなる発展を図って参ります。

今後の新たな社会の変革や改革に対応しつつ、大阪から地域の高等教育の中核となる公立大学の新たな大学像を示すことにより、わが国の高等教育改革の魁としての役割を果たしていく所存です。大阪市立大学の諸先輩におかれましては、従来と同様に母校として慈しみ、ご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後の大学の成長を暖かく見守っていただければと願っております。

2019年度 公立大学法人大阪における役員の体制(現職は2019年3月時点)

役職	氏名	現職	役職	氏名	現職
理事長	西澤 良記	特定医療法人蒼龍会副理事長 特定医療法人蒼龍会井上病院名誉院長	理事	辻 洋	公立大学法人大阪府立大学理事長・学長
副理事長	辰巳砂 昌弘	大阪府立大学研究科長	理事	田頭 吉一	京都大学教育推進・学生支援部長
副理事長	荒川 哲男	公立大学法人大阪市立大学理事長兼学長	理事(非常勤)	相良 晓	小野薬品工業株式会社代表取締役社長
理事	神田 幹夫	公立大学法人大阪市立大学副理事長	監事(非常勤)	西田 正吾	放送大学大阪学習センター所長
理事	金森 佳津	大阪府IR推進局理事	監事(非常勤)	白井 弘	公認会計士

市大偉人列伝

岩本栄之助 大阪市中央公会堂を造った男

1877年、大阪の岩本商店の次男として生まれる。大阪市立商業学校(現大阪市立大学)で商業学を学ぶ。卒業後は外国語学校で英語、フランス語、清語を修める。1904年には日露戦争に出征。日露戦争除隊後の1906年に岩本商店を継ぎ、正式に大阪株式取引所の仲買人となる。

その頃、日露戦争の勝利に沸く日本では株価の暴騰が続いている。このとき、株価の暴落を見越していた北浜の仲介人たち壳方にまわるが、株価は一向に下落しなかった。そして1907年、日露戦争で勝利を収めたにもかかわらず賠償金を獲得できなかったことと、アメリカでの未曾有の金融危機が重なり、日本の株価が大暴落した。そこで岩本は仲介人たちの要請に応え、全財産を投じて市場を買い支えた。仲買人は破産を逃れ、莫大な利益を手にし、栄之助自身も大きな利益を得た。このことがきっかけとなり、岩本は「株式界の義人」とも呼ばれている。また、「学問せなあかん」が口癖の岩本は、証券取引所で働く少年たちのために、学校に行くように勧めた。さらに、私財を投じて塾を作るなどしたため、ますます人気が出ることとなり、「北浜の風雲児」と称えられた。

1909年、渋沢栄一が団長を務める渡米実業団に加わり、ともに異国の地を踏んだ岩本は、米国の富豪の多くが財産や遺産を慈善事業や公共事業に投じていることに強い感銘を受け、大阪の地にホールを建設しようと決意する。旅の途中、父の訃報を受けた岩本はすぐに帰国し、父の遺産50万円と自分の資産50万円、合せて100万円を大阪市に贈った。その寄付は大阪市中央公会堂の建設費用に充てられた。現在の価値に換算して50億円から100億円と言われる100万円の寄付は、一種の事件として驚かれた。このとき岩本はまだ34歳である。

しかし第一次世界大戦後、岩本は株取引に失敗し、巨額の負債を抱えることとなった。周囲の人々は、大阪市に寄付した100万円を少しでも返してもらうように勧めるが、岩本は「一度寄付したものを受けたというのは大阪商人の恥」としてこれを拒否。そして1916年、岩本はピストル銃での自殺の道を選び、39年の人生に幕を閉じた。岩本が1918年11月の大坂市中央公会堂の完成を見ることはなかった。

大阪市中央公会堂は完成から現在までの約100年間にわたり、国際的有名アーティストのコンサートや著名人の講演会などに使用され、大阪の芸術・文化の活動拠点としてその発展に寄与している。2002年には、美しい外観と内部意匠が歴史的建造物として認められ、国の重要文化財にも指定された。



参考

- <http://osaka-chuokokaido.jp/about/history.html>
- <https://www.nikkei.com/article/DGXMO22682090V21C17A0AA2P00/>

加藤菜々子(経4回生)



室内のステンドグラス(大阪市中央公会堂リーフレットより)

市大落研時代の経験を生かした元気な喋りのプロフェッショナル



朝日放送株式会社 総合編成局アナウンス部

みよさわ やすし
エグゼクティブアナウンサー 三代澤 康司さん(商昭59卒)

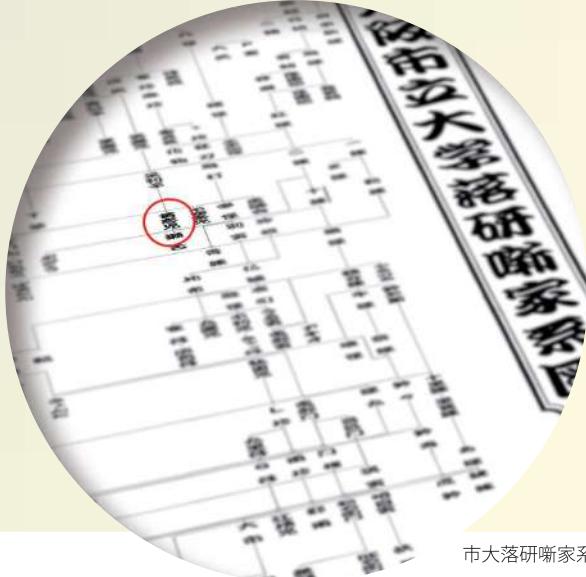
今号の「ざっくばらん」は毎朝のABCラジオ番組「ドッキリ・ハッキリ三代澤康司です!」で有名な関西の名物花形アナウンサー「みよちゃん」と三代澤アナウンサーにご登場いただきました。兎に角、お喋りが好きで元気一杯です。

■今日は市大落研繫がりでやってきました。私の頃に立ち上がった落語研究会が花を開き、三代澤さんは市大落研嘶家系図で見ると、確かに「市大亭黄恋児(おれんじ)」さんでしたね。

三代澤 いや懐かしいな。私は落語が大好きで、喋るのも好き。高座に上がるのも好き。それで他の職種には見向きもせず、ひたすらアナウンサーになりたいと思ったんです。

■それで、朝日放送に入社されたのですね。

三代澤 それが、一苦労でした。私は2回生を2年在籍したせいで、同期の連中が先に就活しており、商社・メーカー・銀行などジャンルの違う職種にやみくもに試験を受けていたのを横目で見て、私はノーノー、アナウンサー一本だと確信し、翌年に全国の放送局を受験したのです。ところが何せ大阪弁でまくしたてるので、就活では大阪以外13局面接で落ち、やっと朝日放送に拾われました。(笑)運が良かったとしか言いようがないです。



市大落研嘶家系図

■アナウンサーの仕事では標準語がマストでは?

三代澤 そのとおりなんですが、入社後標準語を猛特訓したにも拘らずついいつ大阪弁が出てしまい、何回上司に怒られたことか。又、スポーツ番組の中継も苦手で、逃げていたら干されそうになり、そこで上司に直訴。喋り手はハートで喋るやり方と、キチンとした事を伝えるという2種類が有る筈。私はハートで喋る。それにリポートする上で喜怒哀楽を伝えるには標準語では無く、大阪弁でないと伝わらないと。その熱意を認められ「おはよう朝日です・土曜日です」の番組を入社後、間が無いうちに任されました。

■しかし、スポーツ番組とニュースがアナウンサーとしては必須では?

三代澤 確かに。特に夏の甲子園の実況中継は朝日放送しか実況出来ないため、全国のスポーツアナの垂涎の的になっています。然し私は勝負事に興味が無く、まして他人の勝負には関心が無かったですね。

■ではどういった分野に関心が有ったのですか。

三代澤 当時、分野としては、ニュース・スポーツ・バラエティの3分野が有り、そこに新たなジャンルとして、久米宏さんがニュースステーションでニュースを分かりやすく視聴者に興味を持たせるようにした、所謂社会情報番組が出てきたのです。これぞ自分が落研時代から志望していたジャンルで「元気なサラリーマンの代表」でいた



い。丁度そこに「ワイドABCDE～す」のキャスターに就くことが出来、水を得た魚のように生き生きと仕事が出来るようになってきました。

■まさに適職となった訳ですね。ところで最近、吉本の人たちも報道番組の司会をされていますが、その当たりはどのように思われていますか。

三代澤 一番初めにキャスターとして登場したのはサンデープロジェクトの島田紳助さんです。その後、東野幸治さん等がされていますが、あの人達は本当に良く勉強していて頭が下がる思いです。逆に私たちの様な本職は頭から何でも知っているだろうという目で見られるので大変です。

■ラジオは生番組が大半なので、リスナーから質問されても分からなかつたり、失言すると大変じゃないですか。

三代澤 知らないことは知らないとはっきり言えないとダメです。逆に教えを乞うという姿勢が大事。1万人のリスナーがいると1万の答えがあります。知ったかぶりで答えるとリスナーは分からぬ今まで通り過ぎてしまい、番組への興味が半減してしまいます。そのため、回答する時は是非をはっきりさせるようにしていますが、ミスする時もありますよ。

■お酒を一時止められたと聞きましたが。

三代澤 一時では無く、50歳以降止めています。20歳から30年間散々飲んだのです。それで50歳から80まで30年止めて80歳になったら又、思い切り飲んで往生しようと決めたんです。潔いでしょう。(笑)

■後輩の学生に一言を。

三代澤 最近の堅実にという風潮・時代をひとつ乗り越えて志望を高く持ってほしい。貴方たちは人生のスタートラインに立ったばかりです。メディアにも来て、自分が立ち上げるのだという気概が欲しいです。放送局は自己実現できる仕事が有ります。(女子アナ志望の人はたくさん来ます。)



東北大震災後、石巻市の仮設住宅集会所にて、被災者の皆さん前で落語をさせて頂きました。

■大学への要望は如何でしょう。

三代澤 市大はバンカラなイメージ、是非そのイメージを守り続けてほしい。女子学生も含めて官僚的ではなく、バンカラで。私は市大に入って卒業して本当に良かったと思っています。

大学統合に関しては一緒になる事により、いろいろな部門が増え、面白くなるのでは?やはり大学は、都会に在るべき。市大が大阪市内で良かったです。

■市大現役学生プロボクサーの坂本真宏君をラジオ番組に度々呼んで貰っていますが。

三代澤 そうです。特にマカオでの敗戦後もよく来てくれました。頑張ってほしいと思います。特に世界戦の後にも来てもらう事になったのは、本人は勝つつもりでいたので、勝負に関係なく来て貰ったのが印象的です。

■趣味についてお聞きしたいのですが。

三代澤 趣味らしいものは有りません。落語やクラシック音楽は好きですが、仕事とも繋がっており、一体化しています。そうそう、歌手の南こうせつさんが大好きで、ラジオ・テレビの仕事をすると会えるかも知れないというのが、アナウンサー志望の理由の一つでした。

■これからのこと?

三代澤 定年退職後も何か続けられることを考えています。それと昨年初孫が生まれ、時おり連れて来て貰いますが、可愛いですね。その当たりの思いは、皆さんと一緒に好々爺になりますよ。(笑)

■長時間有難うございました。これからも大学・同窓会を宜しく願います。

(インタビュアー:編集部 小林俊介)

市大出身の社長さんご紹介

話題のがん免疫療法薬の開発で大躍進

小野薬品工業(株) 代表取締役社長 相良 曜



今回は免疫のブレーキを解除することでがん細胞を攻撃する画期的な薬剤を開発した、創業300年を経た小野薬品工業の相良社長さんを取り上げました。昨年ノーベル生理学・医学賞に選ばれた本庶佑京大特別教授との共同研究でも知られましたが、従来の抗がん剤とは全く違った観点から開発された免疫を高める「抗PD-1抗体」。全てのがんに効く可能性も期待されることから、一気に名を馳せた小野薬品社長の相良さんの登場です。

相良さんは大阪・枚方の出身で、昭和58年商学部を卒業、同年小野薬品に入社。

営業畑を中心に勤務。その後めきめき頭角を現し、40代という若さで社長に就任、当時社内外に大きな驚きをもたらした逸材です。社長就任後も幾つもの困難を乗り越え、がん免疫療法薬という大きなイノベーションにより売上・利益とも大幅増で大躍進しています。

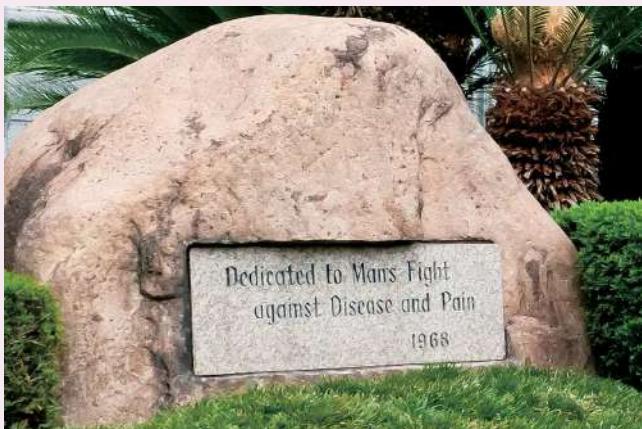
大学時代は関西の他の大学を跨いだスキ一同好会を主宰、組織の作り方や人はどうすれば動くか、等を経験。その後の人生に活きていると述懐。又、幼少期はピアノやボーイスカウト、四条畷高校ではサッカーで大阪選抜チームに選ばれるなど、勉強だけでなく多彩なアウト



福井研究所



フジヤマ工場



企業理念石碑(水無瀬研究所)

ドア派でもあります。ビジネスでは多忙な日々を送っておられます BUT、昨秋愛娘の結婚披露宴では思わず涙腺が緩み、素の父親の顔になったようです。

「素」といえば、相良さんはどのような状況下でも「素直な心」で物事を見るように努めていると云う事。薬品業界という競争の激しい業界、薬価基準や提携・連衡など毎日が戦場の職場に身を置いているにも拘らず、常に肩肘張らずに落ち着いて話される姿は、自信に満ち、素の信念で行動されていると改めて感服させられました。

小林俊介(法昭44卒)

願いをこめた新薬を、 世界のあなたに届けたい。

「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」
わたしたちは、新薬の開発に挑み続けます。
待ち望まれるくすりを、一日でも早くお届けするために。

ONO 小野薬品工業株式会社

広報課 大学サポーター交流室より

大阪市立大学は2020年に創立140周年を迎え、大阪市立大学全関係者と共に、ハード・ソフト両面にわたる周年事業を展開します。ハード面では、1号館(時計台)講堂リニューアル、(仮称)大学史資料館の一部先行オープン、1号館前庭、学生ホール、部室のリニューアル、全天候型グラウンドの整備を進めるなど本学のさらなる教育・研究環境の整備を行います。

また、ソフト面では、2020年5月9日、ホテルニューオータニ大阪で記念式典を開催し、京都大学山中伸弥教授の記念講演を皮切りに、リニューアルした1号館講堂等において、大々的なイベント・祝賀会などを開催し、本学の魅力を内外に発信します。

「創立140周年記念事業のために」という目的を、大阪市立大学夢基金の寄附目的のTOP1として掲げましたので、「創立140周年記念事業」をはじめとする大阪市立大学夢基金、並びに大阪市ふるさと寄附金への変わらぬご支援をお願いします。

大阪市立大学夢基金
大阪市立大学は**2020年**に
創立140周年を迎えます

過去の **今一度** **未来に向けて**
歴史・伝統 × 感謝・誇り × 革新・飛躍
を振り返り **の気持ちをもって** **しよう**

わが母校が輝きを増すために
大阪市立大学夢基金寄附のお願い

大阪市立大学の教育・研究活動に対し、平素より温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
1880年に誕生した大阪商業講習所を源流とする本学は、長い歴史と伝統を誇り、都市大阪の発展を牽引する「歴の拠点」として、都市の課題をテーマに教育・研究活動を展開してまいりました。
こうした中、本学は、**2020年に創立140周年**という節目を迎えます。
卒業生や教職員など多くの大学関係者が育んできた140年という長い歴史と伝統を大切にし、それを基にこれからの大、大阪、日本、世界に継承していくべきことを、夢に羽ばたこうとする在学生や教職員が考え、語らい、発信させていくために、記念すべき2020年を中心にお年寄り事業を展開していきます。
この周年事業を推進するための寄付目的を**TOP1**として、この度掲げさせていただきました。
夢のある魅力あふれる大阪市立大学としてさらに進化させることため、「笑顔あふれるかど健康のグローバル拠点」をスローガンに掲げ、未来にわたって学生・卒業生・市民の皆様に愛され続ける大学としてより一層の努力を重ねてまいります。そのためにも、「創立140周年記念事業」をはじめとする夢基金の建設を御理解いただき、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

大阪市立大学
校長
高川 雄里

大阪市立大学



大学ニュース

公立大学法人大阪の発足に当たり

公立大学法人大阪 理事 神田幹夫



大学実現に向け第一ステップがスタートしたものです。私は3月末まで大阪市立大学副理事長の任に当たっておりましたが、新たに新法人の理事を拝命し人事・経営戦略を担当することになりました。

法人統合により(1)両大学の経営面の一元化と教学面の連携を強化し新大学への移行をより円滑に推進し、(2)法人役員数の削減や法人共通部門の集約化を図り、資源を大学運営に重点投入し、更に(3)両法人でこれまで培ってきた職員の能力を最大限に活用し事務力の向上を図り、大学高専の教育研究を支える事務体制を充実していくこととしています。

続く第2ステップとして、世界的な大学間競争を勝ち抜きより強い大阪の実現に貢献できる知的インフラ拠点として世界に向け展開する高度な研究型公立大学となるよう、2022年を目指す両大学の統合により新大学の実現を目指してまいります。

大学統合では、基幹教育の充実、キャンパスの再編整備、新分野・領域などへの投資を進めることで、更に有為な人材を教育・輩出し、外部資金の獲得努力により研究力の向上、大学運営の充実や教学組織の改革により教育力や研究力の向上に取り組むこととしています。具体的に、教育研究組織・3ポリシー、入試科目・教育カリキュラム、教育研究活動を展開するキャンパス構想の策定、更に法人大学の自助努力と府市の財源措置などを、両者間で協議解決しながら進めが必要です。何よりも魅力ある新大学の展望を、全ての関係者に対し示し進めることが重要だと思います。

卒業生の皆様など多くに支えられ発展を遂げてまいりました市立大学の伝統とブランドは、大学統合するときにも引き継がれていくべきものだと思います。今後とも卒業生の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

国際交流の取り組みについて

特命副学長・国際センター所長 鶴田大輔

本学ではグローバル人材の育成を中期目標にかけ、海外の大学等との活発な教育・研究交流に努めるとともに、時代のニーズに合わせた諸活動を展開しています。国際センターの主な取り組みは、例年実施の各種学生向け研修や留学フェアへの出展、海外同窓会支部との交流会、国際交流促進のための事業企画や資金分配などです。2018年度は上記に加え、留学生獲得強化の試みとして6月・11月の日本語学校向け模擬授業会、12月の上海・甘泉外国语中学での出張授業、日本人学生のグローバル感覚醸成の取り組みとして9月に「国際ビジネス演習(共通教育科目)」履修生の海外企業インターンシップ渡航支援等を行いました。学術・研究交流強化として、12月にタイの最高学府であるチュラロンコン大学との協定更新調印式を含め、世界の有力大学との関係強化に努めています。また、留学生の住宅環境整備のため、留学生と日本人学生共住のシェアハウスを2019年10月から供給するプロジェクトを鋭意進めています。

2019年度は、ベトナム・ハノイに新リエゾンオフィスを設置すべく準備に着手して参ります。今後もご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。



短期留学生の受け入れイベント

就職活動状況について

就職支援室 室長 池山尚高



今春卒業した学生の就職活動では、好景気により売り手市場が継続していること、インターンシップを活用した学生の囲い込みが進んだこと、外資系やベンチャー企業に対抗すべく多くの企業が採用活動を早めたことなどから、採用活動全体の早期化が促進されました。

2020卒生(現4回生)について、経団連は採用活動スケジュール(指針)を維持するとしましたが、2021卒生(現3回生)についてはこれを撤廃し、2021卒生以後については行政がこの指針を継続していく方針を発表しています。これにより、当面は定型化している就職環境が継続する見通しですが、この指針については既に形骸化している状況であることは否めず、インターンシップを活用した特別選考からの採用を多くの企業で導入している事で、早期かつ長期の就職活動に変容しています。一方でメガバンクがAI導入により採用人数削減を決定したことや、2019年3月に景気が後退局面に入りだしたと報道されたことなど、企業の採用計画に直結する経済・産業構造に変革が訪れつつあります。

このような動向に対応すべく、就職支援室では学生に時宜に応じた支援を提供できるよう鋭意努力してまいりますので、皆様方のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

大学及び学生の行事・催事

平成30年度 卒業式

2019年3月25日にて平成30年度大阪市立大学卒業式・修了式が催された。

当日は門出にふさわしい快晴となり、先輩の卒業を祝福する在学生も多く見られ、終始暖かな雰囲気に包まれていた。

式は交響楽団による音楽演奏、学位記授与、フランシス・カルーン・チャン名誉教授からのことば、副専攻修了証授与、学生表彰、学長祝辞、来賓祝辞、式歌齊唱の順で行われた。荒川哲男学長からは、「これからも市大を卒業したと

いう誇りをもって社会や世界で活躍してほしい。」と送られた。また、来賓祝辞では全学同窓会会长である児玉隆夫氏から、「これからも困難はあるだろうが、それを共に乗り越える、学び舎を共にした掛け替えのない仲間と同窓会との絆を大切にしてほしい。」と送られた。

式後、4年間の感想を卒業生に尋ねたところ、「あつという間の4年間だった。卒業してしまうのは寂しいが、この大学で学んだことを社会でも活かし、自立していきたい。」と4年間を追憶するもこれからの抱負を語った。

土屋拓海(工3回生)



平成31年度 学部・大学院入学式挙行

2019年4月5日(金)、大阪市中央体育館(朝潮橋)にて「平成31年度 学部・大学院入学式」が挙行された。今年度の入学者は、学部1,539名、3年次編入学生10名、大学院前期博士課程(医学研究科、都市経営研究科は修士課程)506名、大学院後期博士課程(医学研究科、創造都市研究科は博士課程)133名、法科大学院は20名。

荒川学長より「サントリー創始者鳥井信治郎、野村証券創始者野村徳七等偉大な大先輩方を輩出してきた大阪市立大学の自由と進取の気風は、連綿とイチダイ生に引き継がれている。諸君もイチダイで誇りを持って、自由な発想でさまざまな事に挑戦してもらいたい。」との熱いメッセージがあった。

入学式終了後、「学長が保護者&新入生をもてなす会」が開催され、「同窓会」「有恒会」「教育後援会」「国際交流センター」等のPR、市大オリジナル商品試食会等で700人の保護者・新入生をもてなした。



戦没学友の碑献花の集い

とき：平成31年4月10日(水)11時

ところ：戦没学友の碑前(1号館講堂南西)

平成14年4月の碑建立以来、毎年桜花爛漫のもと「戦没学友の碑 献花の集い」は本年、大学センター交流室・同窓会共催で開催。あいにくの雨模様ながら、戦没学友遺族、碑建立発起人、発起人家族、同窓生及び荒川学長はじめ大学教職員、学生代表(6名、昨年より参列)その他多数の関係者計70名が参列。

集いは学生歌斉唱に始まり、南澁会(市大グリークラブOB会)



6名による「海ゆかば」合唱も交え、参列者全員による戦没学友の碑に白菊を献花した。

集いにつづく懇親会では、学徒出陣時のエピソードなども出て、あらためて市大の長い歴史を振り返るよい機会であった。

なお、先の大戦での同窓生や大学教職員戦没者はいまだすべてが明らかになつたわけではなく、今後も全容を追い続けることが、大学並びに同窓生のつとめだと思う次第です。

有恒会運営本部事務局

広報課より

市大日本酒

大阪市立大学は、オリジナル純米吟醸酒「月の桂」の販売を開始。オリジナル純米吟醸酒「月の桂」は、本学理学部の田中俊雄教授と京都市産業技術研究所が共同開発した酵母「京の華」を使用しており、京都伏見の老舗蔵元「月の桂」によって醸造されました。

2019年4月8日(月)より、生協シェリー(杉本キャンパス)・生協リンク(阿倍野キャンパス)にて店頭販売を開始。(インターネットおよび電話での販売は行っていない)

商品名：大阪市立大学オリジナル純米吟醸酒「月の桂」

酵母：京の華

原料米：京の輝き(京都産)100%使用

精米歩合：60%

アルコール分：15度



バランス弁当

本学医学部附属病院 先端予防医療部と栄養部は、肥満や糖尿病をはじめとする生活習慣病予防のための食事管理ツールの研究成果を基に「1:1:1お弁当ダイエット法」を考案、2019年2月28日(木)よりこのダイエット法を基にした本院監修の「1:1:1バランス弁当」を発売。この弁当は総エネルギー量に対して、たんぱく質・脂質・炭水化物を正しい配分で摂取するには、ご飯などの主食量の決定が重要であること、また主菜、副菜としてたんぱく質やビタミンやミネラルを摂取することは高血糖予防の観点だけでなくフレイル対策にも有用であるという考えがベースとなっています。



赤玉スイートワイン

2018年11月3日(土)より、「赤玉スイートワイン」の販売を開始。サントリー創業者鳥井信治郎氏が本学の前身である「市立大阪商業学校」で学ばれた縁もあり、今回、コラボレーションが実現。

昔の「堂島校舎」をラベルに使用したオリジナルの赤玉スイートワインで、ストレートで味わっていただくのはもちろんのこと、炭酸やフルーツ等と割って飲んでいただける商品です。(広報室)

大学人事一覧(平成31年4月1日以降)

1. 大阪市立大学 学長・副学長等

学長	荒川哲男
副学長(教育・学生担当)	橋本文彦
副学長(研究・情報担当)	櫻木弘之
副学長(男女共同参画担当)	池上知子
特命副学長(国際交流担当)	鶴田大輔
特命副学長(社会人大学院・大学史資料館構想担当)	桐山孝信
特命副学長(人事委員会担当)	保尊隆亨
特命副学長(教育改革担当)	永村一雄
学長補佐(地域貢献・産学官連携・知的財産担当)	宮野道雄
学長補佐	鈴木裕道
学長特別補佐	斯波将次
学長特別補佐	大久保敦
学長特別補佐	阿多信吾

2. 大阪市立大学 研究科長・学部長及び病院長

経営学研究科長・商学部長	中瀬哲史
経済学研究科長・経済学部長	中嶋哲也
法学研究科長・法学部長	渡邊 賢
文学研究科長・文学部長	小林直樹
理学研究科長・理学部長	坪田 誠
工学研究科長・工学部長	長崎 健
医学研究科長・医学部長	大畠建治
看護学研究科長	熊谷たまき
生活科学研究科長・生活科学部長	岡田進一
創造都市研究科長・都市経営研究科長	新藤晴臣
医学部附属病院長	平田一人

第五回日中大学学生芸術交流展開催

とき：平成31年3月28日(木)～4月2日(火)

ところ：上海高島屋 7階

参加団体：大阪市立大学(青桃会・混声合唱団)

神戸大学(美術部)

上海大学書法社、上海大学京劇団

全学同窓会会长児玉隆夫氏、高津高校OBからは植木武裕氏(理院昭44)<合唱団指揮>広瀬先生<応援団>が参加して頂き、上海高島屋での日中大学学生芸術交流展は大盛況に終わりました。

特に上海高島屋1階でのスーパーライブアート(神戸大担当)は上海大学の京劇、植木OBの音頭、大阪市大混声合唱団6名による「北国の春」を大合唱、観客参加も頂き大喝采を受けました。上海高島屋様からは高い評価を受けることができました。ご寄付、広告協賛、後援等ご支援を頂いた多くの皆さんに感謝申し上げます。

尚、日中大学学生芸術交流展開催するにあたって日本外務省から「2019 青少年交流推進年」の認定とロゴマークの使用許可を頂きました。

青桃会 原田利明(商昭43卒)



出会いに恵まれた4年間

遠山信吾(工学部)

2015年4月、静岡県出身である私は、初めての大坂、初めての一人暮らしなど初めてづくしの大学生活に一抹の不安を抱きながら市大に入学しました。しかし、その不安は様々な出会いによってすぐに解消され、最高の学生生活だったと振り返られるほど充実した4年間になりました。まず、先生方との出会いです。

私が所属していた化学バイオ工学科では、入学してすぐのオリエンテーションや1泊2日で行う学科全体での合宿など、学生だけでなく先生方とも距離を縮



ふたば祭 特別プログラム 「OB・学長対談」開催

とき：平成31年4月19日

ところ：全学共通棟8号館811教室

つつじが彩り始め、さわやかな季節を迎えたキャンパスにて、第14回ふたば祭特別プログラム「OB・学長対談」(主催有恒会)が開催された。

在学生に学生生活や将来への夢に向けて、役立ててもらいたい趣旨での初めての企画であり、住友ゴム工業(株)代表取締役副社長木滑和生氏(商昭54)、荒川学長からは在学生に熱いメッセージが送られた。

(木滑)夢と目標は常に持ち続けてほしい。人の話をよく聞き出合いを大切にしてほしい。時間を意識し、刻々と変わってゆく価値観を大切にしてほしい。

(荒川)洞察力(Insight)・コミュニケーション力(Communication skills)を養い、人間力(Resourcefulness)へと発展させてほしい。

参加した在学生からは、たくさんの質問が出された。また、このイベントの開催を知った今年度新入生の保護者の方々も参加され「OB・学長対談」は大いに盛り上がった。

中村祐子(文平27卒)



められるような企画がありました。それのおかげで速やかに学科に馴染むことができ、先生方とのコミュニケーションも取りやすくなりました。研究生活において様々な先生方に相談しやすい環境があったのは、それまで受けた先生方からの愛情によるものだと感じます。また、かけがえのない同期との出会いもありました。専門科目は高校までに学習した内容よりはるかに難しく、研究もうまくいかないことが多くありました。しかし、共に乗り越えられる仲間達がいたことは、非常に大きな支えになりました。学業も遊びも全力な友人や学生想いの先生方との出会いに恵まれ、大阪市立大学は私にとって第二の故郷と感じられるものになりました。





市大から世界へ

5年前の4月、第一志望の大学を諦め、入学を決めた大阪市立大学。今振り返ればあの時の決断は決して間違いではありませんでした。

市大での生活を振り返れば、NPOで活動したり、フィールド調査をしたり、幾度も一人旅に出かけたりと、学内外での思い出に溢れます。中でも二度の海外留学経験は、市大を選んでよかったと思える一番の理由です。交換留学制度を使って、二年次にはロシア・サンクトペテルブルクに短期留学、三年次にはアメリカ・ユタ州に長期留学に行きました。ロシアでは、第二外国語として学習したロシア語の難しさや街の美しさ、都市に生まれる貧富の格差を肌で感じました。アメリカでは、様々なバックグラウンド・考え方・宗教を持った友人に出会い、議論をしま

中山祐貴(理学部)



した。雄大な自然とその脅威を肌で感じました。

二度の留学経験は、将来を考えるうえで一番大きなものになりました。社会では、市大で学んだ知識とこれらの経験を活かし、世界の生活をよくするために活躍していきたいと思っています。

最後になりますが、夢基金からの奨学金や教職員の方のサポートには大変感謝しています。ありがとうございました。



市大への感謝

片田達也(文学部)



4年前、私は後期入試に合格し、大阪市立大学に入学しました。実は前期試験で市大を同様に受験しましたが無念の失敗だったので、その喜びは未だに忘れることができません。

入学後は今まで以上に励みました。まず、副専攻と呼ばれる追加プログラムに参加しました。短期間ではありましたがカナダに渡航でき、自分の価値観は大きく変わりました。部活でも部長として仲間を引っ張る立場として活動し、私の特集

記事を学校案内に記載して頂いたのは思い出深いです。

そして何より、勉学においても市大で大きく羽ばたけたと感じています。2回生では学科で1人だけの学修奨励賞を受賞し、大きな自信となりました。3回生では社会調査実習に参加し、計量的な報告書の執筆に注力しました。そして4年生の卒業論文では、マルチレベル分析と呼ばれる高度な統計技法に挑戦し、優秀論文賞を受賞することができました。

このように述べると順風満帆のように見えますが、もがき苦しんだことは本当に多々ありました。しかし、市大は私を決して見捨てる事なく、成長へと導いてくれました。今後は市大で学んだ全てのことを生かしつつ、「なりたい自分」に近づけるようにしていきたいです。

大学生生活を振り返って

森 亜里沙(経済学部)



私にとって大学生活は新しいことだらけで、とても学ぶことの多い4年間でした。勉強はもちろんですが、サークルにアルバイトに遊びにと、とても充実した期間がありました。

たくさんの学びの中でも特に、周りの人達のかけがえのないありがたみをこの4年間で一番実感しました。

私は大学から、ずっと憧れていたエレキギターを始めました。周りが経験者がほとんどで挫けましたし、ギターも難しいしでギターを諦めていた時期もありました。しかし、なんとか最後までサークルを続けられたのは優しく見守ってくれていた周りの友だちや先輩などのおかげであると思います。サークル仲間は大学生活において1番たくさんの時間を共にしてきたので大切な存在となりました。

アルバイトでは、主に接客業をしてきました。アルバイトも最初はなかなかスピードについていけず、行くのが億劫になる時もしばしばでしたが、こちらも周りの人達に支えられ、4年間勤めあげることができました。最後の出勤日には大きな花束や色紙などをいただけて本当に暖かい人達に囲まれて仕事をしていたことを改めて感じました。

これからも、周りの人達への感謝の気持ちを忘れずに新しい環境でも頑張って行こうと思います。

大学生活を振り返って



板野修平(商学部)

私の大学生活4年間は所属していた硬式野球部で過ごした時間そのものです。市大硬式野球部は、チーム目標に「全国優勝」、個人目標には「プロ野球選手」を掲げる集団であり、入部早々そのレベルの高さに面を食らいました。しかし、そんな先輩たちも高校時代は決して上手かったわけではなく、4年間で大きく成長できる環境に惹かれてゆきました。そうして必死に毎日練習を重ねるうちに気付かされたことは、「高い目標を掲げることの大切さ」です。高い目標を掲げ、時間を逆算し、本気で達成しようと日々取り組むことで人は飛躍的な成長を遂げることを身をもって学びました。また、このチームからもう一つ学んだことは「応援のもつ力」です。必死に練習する仲間、野球部のことに気をかけてくださるOBさんや学生支援課の職員さん、ゼミの教授先生など多くの人が野球部のことを想ってくれていることを実感し、その全ての人を応援したいと心から思い、そんなことを日々考え行動すると、今までの自分には到底なかった力が引き出されているような感覚になりました。誰かを応援したい気持ちがこのような力を生むことに気付かされた瞬間でした。今後、社会に出ても野球部で学んだことを心に深く刻んで過ごしてゆきたいと思います。



私の4年間

井川穂乃佳(法学部)

入学当初は長そうと思っていた4年間も今思えば本当に一瞬で過ぎ去っていました。それは、私にとって大学生活は充実していて楽しいものだったからだと思います。

1回生の時、雰囲気が良かったことと漠然とした武道への憧れで合気道部に入部しました。しかし、合気道はおろか武道もしたことのない私にとって最初の方は正直しんどかったです。同期たちが技を覚えしていくなか、自分は技を覚えられず、辞めたいと思うこともありました。そんな時、先輩方や同期が優しく教えてくれたり、呆れることなく一緒に練習してくれたおかげで、私は諦めることなく、4回生の最後までやり遂げることができました。自分一人ではできなかったと思うので、すごく感謝しています。



自分が先輩になると、後輩に積極的に教えるよう努力しました。私は消極的なうえ人見知りのため、後輩に話しかけるのも勇気が要りましたが、自分が今までしてもらったことを後輩たちに返したいという思いで頑張りました。今では、人見知りも少しこれ克服できたかと思います。

この4年間はこれから私が社会人として生きていくうえで大切なことを教えてくれました。学んだことを忘れずにこれからも頑張りたいです。



なが——い、おつきあい。



各種金利プラン充実

ニーズに合ったご提案

住宅ローン

資産運用

口座はスマホでベンリに

事業をしっかりサポート

京銀アプリ

事業融資

京都銀行はさまざまなシーンで
皆様を応援します！

飾らない銀行

京都銀行





クラブ紹介

体育会系 よさこいサークル

チーム朱蘭は2007年に発足した、よさこいのサークルである。

チーム朱蘭の基本的な活動内容としては、週に2、3回のよさこいの練習、そして週末のよさこいの祭りへの参加が挙げられる。よさこいの祭りは3～12月に行われ、特に8月は毎週のように祭りに参加しているようだ。

チーム朱蘭の特筆すべき点は所属人数の多さである。1学年あたりの人数であれば、40人を超えており、これは市大内でも最も多い数なのだという。

そんなチーム朱蘭の2019年度の目標は毎年9月に大阪城公園で行われるこいや祭で大賞を受賞することである。こいや祭は全国価値の様々なチームが参加する、権威のあるよさこいの祭であり、朱蘭は過去に2度準大賞を受賞している。しかし、大賞の受賞は未だ嘗てなく、目標に向けて日々努力をしている。

チーム朱蘭は先ほども述べたように市大内でも有数の巨大なサークルであり、ふたば祭や銀杏祭など学内行事を盛り上げる、市大の中心的存在である。そんなチーム朱蘭の今後は注目していきたい。

土屋拓海(工3回生)



よさこいサークル

音楽系 ギターマンドリンクラブ

ギターマンドリンクラブは50年以上と長い歴史を持つ団体である。オーケストラはマンドリン、マンドラ、マンドロンチェロ、クラシックギター、コントラバスの5種類の楽器から構成されており、それぞれの個性をもった楽器が組み合わさって1つの演奏となっている。

団体名の由来にもなっている「マンドリン」はイタリア発祥の弦楽器であるが、実際に目に見る機会はあまりないであろう。そのため、部員の多くは初心者であるが、バイオリンなどとは異なり音を出すことが非常に簡単であるため、楽器経験者でなくとも気軽に始めることができる。大学に入ってからでも、今まで経験したことのない新しいことを気軽に始められることが最大の魅力といえるだろう。

本年度は、年2回の定期演奏会に加えて銀杏祭での演奏も予定している。市大を代表する音楽系サークルとしての、今後の活躍に注目していく。

大瀧智史(法2回生)



ギターマンドリンクラブ

文化系 青桃会

青桃会は、約20名が活動する団体である。油絵、水彩画など人によって描く画材が異なる。作品には小さいものもあるが、大きいものになると人間の身長よりも高いサイズもある。また、観客の前で音楽を流しながら作品を完成させていくライブアートもあり、ライブならではの動き方や魅せ方まで考えている。さらに、神戸大学・大阪府立大学や近畿圏の諸大学と展覧会を行うなど、他大学との交流も盛んだ。近畿圏だけでなく、芸術を通じた日中交流を目的に上海大学と合同展覧会を開催するなど国際交流も行っている。

自分の描きたいものを日々の中で見つけ、それを形にする。形にするのが難しいからこそ、作品を見た人に褒めてもらえると嬉しいという。この枠にとらわれない自由な雰囲気だからこそできることなのだろう。

福田夏実(文2回生)



青桃会

土屋太鳳
TAO TSUCHIYA

asics

I move ME™
ワタシを、動かせ。

TOKYO 2020
TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES
Tokyo 2020 Gold Partner
(Sporting Goods)

化学で
未来を
変えるの

DAICEL 100th
Surprise! DA future.

ダ

株式会社ダイセル

大阪本社 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB TEL06-7639-7171
東京本社 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル TEL03-6711-8111

企業で活躍する若手卒業生から現役学生へ!

2018年12月1日(土) 民間企業に勤める卒業生と現役学生との交流会

同窓生と現役学生との橋渡しは同窓会の大きな役割ですが、このイベントもその一つ。現役学生の皆さん方が卒業後の進路を決めたり、就職活動を行うにあたって、少しでも役に立つ情報が提供できればと毎年企画しているものです。

今回、いろいろな企業に勤める若手～中堅の卒業生10名がパネリストとして駆けつけてくれ、現役学生からは約40名が参加、大変にぎやかな交流会になりました。

第一部では、卒業生が自らの就職活動を中心に、失敗やハプニングを交えながら、進路を決めるにあたって悩んだことや企業訪問や面接時の心構えについて語ってくれました。どれも実体験に基づき、示唆に富むものであり、「頼りになる先輩」の姿でした。

第二部では、卒業生2名と学生8名程度がグループを作り、主に会社生活について、学生からの質問を受ける形で話を進めました。会社訪問では聞きたくても聞けないことに対して先輩から本音の答えをいただき、とても活発なやりとりが行われました。

第三部は飲み物と軽食をとりながらの懇親会。気軽に先輩の話が聞ける場となり、予定時刻を過ぎても話が途切れず、笑顔の絶えないものになりました。



今回参加してくれた卒業生の勤務先は、NTTデータ、双日、全日本空輸、東洋紡、日産自動車、日鉄住金物流、JR西日本、東京海上日動火災保険、毎日放送の各企業。近畿圏だけでなく、東京、大分、岡山からも駆けつけてくれました。年齢層は学生が身近に感じられるよう若手～中堅(入社後1年目から8年目)層に来ていただき、業種も出来るだけ偏らないように工夫しています。

前回の反省もあり、今回はグループでの話し合いに多くの時間を割いた結果、参加者から「個人的なことを含め身近な話が聞けて良かった」、「自分が将来働くイメージが出来た」、「他の業種の話を聞いてみたい」、「進路が決まった4回生向けの交流会を企画して欲しい」、「グループトークの時間をもっと増やして欲しい」といったポジティブな声を貰いました。これらの声を活かし、1回生から院生まで、また、どの学部からも参加してもらえるよう、これからも工夫を重ねていきたいと思っています。

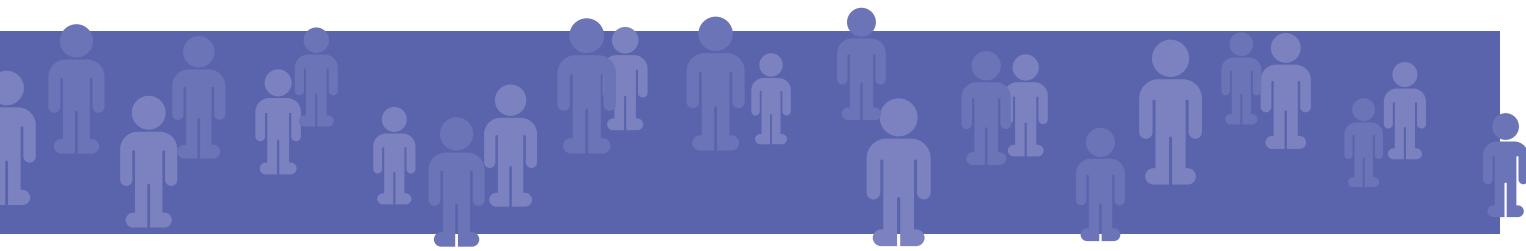


また、参加してくれた学生が社会に出てからこのイベントにパネリストとして戻ってきてくれたり、パネリスト同士がこれを機会に交流を続けてくれる等、同窓会活動自体がより活発になることも願っています。参加してくれた卒業生の感想をあとに掲載していますので、是非ご一読下さい。

開催に当たっては、各学部の先生を始めとして、大学の就職支援室、センター交流室、広報室、学生支援課、それに教育後援会からも種々ご支援を頂きました。最後になりましたが、この場を借りましてお礼申し上げます。

編集部 北村吉文





参加してくれた卒業生の感想

中山真衣さん

(NTTデータ／文学部／平23卒)

皆さんの期待と不安に満ちた瞳に、私自身の就活時代を懐かしく思い出しました。就職はスタートであり、充実した社会人生活を送りきることがゴールと思います。

加賀友基さん

(全日本空輸／経済学部／平24卒)

学生の皆さんがどのような目で会社を見ているかを感じ、これから採用活動に大変参考になりました。また、他業種で働く卒業生の活躍ぶりを知り大変刺激になりました。今回の経験を糧に、広く親しまれるエアラインになれるよう努めてまいります。

高田さくらさん

(東洋紡／文学部／平24卒)

卒業後7年目のタイミングで後輩たちと話が出来、とても有意義でした。また、同世代の仲間の意見や幅広い視点に触れ、自分自身もっと柔軟な考えをしても良いのだと新鮮な刺激を貰いました。後輩たちには積極的に色々な意見を聞き自分の将来に思いを馳せてほしいと思います。

塚田竜也さん

(双日／経済学部／平24卒)

自分自身の就職活動時代を思い出し大変刺激になりました。東京で採用活動に携わるなか、東京/大阪間の情報量に差があるように感じていますが、その課題を埋められるような有意義な会だったと思います。引き続きこのようなイベントに協力させて頂ければ幸いです。

野本竜馬さん

(大手住宅設備機器メーカーを経て、現在大阪市立大学・法人運営本部／商学部／平25卒)

学年、男女を問わず市大生の就職に対する意識の高さを感じました。学生の皆さんから刺激を受け

たことは言うまでもありませんが、各業界で活躍するOBOGの話を同じ社会人目線で伺い大きな刺激を受けました。懇親会後のプチ打ち上げを含め、大変有意義な時間でした。

大石将司さん

(西日本旅客鉄道／法学部／平28卒)

私自身、就職活動を手探りでやっていたので、こういった機会は大変有意義だと思います。1、2回生が多く参加し、関心の高さを感じました。卒業以来の母校でしたが、現役学生との交流は大きな刺激でした。就活は「縁」であり、人と人との繋がりが最も大切。大学がその繋がりを作り出す場になれば理想的だと思います。

石田浩之さん

(日鉄住金物流／経済学部／平28卒)

普段聞けない学生の視点や卒業生仲間の異業種の話を聞く事が出来、とても励みになりました。お世話になった大学に今回少しでもその恩返しが出来たとしたら幸いです。現役学生と卒業生の活発な交流という、本学の魅力を再認識し、今後も同窓会の一員として大学に関わって行きたいと思います。

俵畑 穂さん

(東京海上日動火災保険／経済学部／平29卒)

会社や仕事の内容をお話し、他の業界で働く卒業生の話を聞きすることで、自分の会社を外から見ることができた良い機会になりました。就職活動中に感じていた「こう働きたい」との思いが蘇り、初心に帰ることができました。これからもこのような繋がりを大切にしていきたいと思います。





同窓会ニュース

シスターフッドプログラム

とき：①平成30年10月20日(土) ②平成30年12月8日(土)

ところ：大阪市立大学田中記念館 3階会議室

2014年スタートしたシスターフッドプログラムのメインテーマは“もしこういう話を大学生の頃に聞いていたら、人生はもっと楽しく面白くなっていたかも”でした。

企画していただいた大阪市立大学都市経営研究科、永田潤子教授(現)の挨拶文は以下の通りです。

大学時代にはあまり教わらないけれど、社会に出たら大切なことがたくさんあることを、先輩方は知っています。例えば、経済的に自立しながら夢を実現すること(仕事と自分の関係)、豊かな人間関係をつくること(他者との関係)、自分らしい人生を生きる(自分らしさを發揮する)コツやヒントなど。

このシスターフッド・プログラムでは、毎回、大阪市大の卒業生やゆかりのある先輩方をお招きし、ご自身の経験をお話しいただいた後、参加者同士でそのヒントや考え方のコツを整理します。人生の少し先を歩く先輩方の経験や考えに触れる場であり、参加者同士で語り合う場を通して、単に話を聞くだけではないため、より自分ものになることでしょう。

女性が集い知恵を出し合うことによって、自分の将来の可能性を広げる女子学生が増えたら、日本の社会全体にとってもすばらしいことではないか…と、企画しました。



今回参加者の感想文

このシスターフッドプログラムでは、単純に就職のことだけではなく、自分の将来にプラスになることをたくさん教えていただくことができました。また、私は、まだ将来の夢を明確にできていなくて、考えていることをあまり上手く言葉に出来ないことも多かったのですが、少人数で優しい雰囲気だったので、とても話やすかったです。その雰囲気がとても良いなと思いました。受講者：岡本真弥(商2回生)

なお、2019年も現役学生主体で継続して実施していきます。ご期待ください。

女性部会(WPC) ニュース 第6回交流会報告

とき：平成30年11月3日(木) 10:30-12:30

ところ：学術情報総合センター 10階研究者交流室

話題提供：「仕事と家族と成長と」

株式会社近鉄百貨店 商業開発本部

プロフェッショナルアソシエイト米田昭子氏(文昭55卒)

※参加者10名

米田さんは、Hoop、and、あべのハルカス、てんしば等の開発プロジェクトの中で、阿倍野・天王寺地区の新たな賑わいづくりの仕掛け人としてマーケティングや店舗リーシング等の業務を担当され、この間、経営企画部長、新店準備室副本部長、店舗リーシング部統括部長を歴任する等、女性管理職としても先頭を走ってこられました。



女性の働きづらさ、逆に、強みに関する本音トークや、仕事と家庭の両立は「たよる」「たのむ」「たのしむ」の「3つの“た”」で切りぬけたというお話、また、出世競争では最後は壁が立ちはだかったものの、会社人生を通して「新たな商業施設は街を変える」という開発の醍醐味を味わえたことは何ごとも代え難く、定年後もそれらを後進に伝える仕事をしているというお話を伺いました。

百貨店、商業施設開発という生活に密着した仕事、ご本人の前向きで明るい性格等々周りから見ると恵まれたケースだとは思いますが、仕事の喜び、子育ての喜び、周辺の人達を巻き込んでいくエネルギーは、女性に共通しているものだと心を強くした次第です。

その後、軽食を摂りながら、参加者全員の自己紹介や各人の課題をざっくばらんに話し合い、少人数ならではの暖かい雰囲気でひとときを過ごしました。

女性部会(WPC)HP：<https://www.osaka-cu.net/wpc> Facebook：<https://www.facebook.com/groups/ocu.wpc/>

よつば会講演会

とき：平成30年11月17日(土)

ところ：看護学科学舎多目的ホール

2018年11月17日に、よつば会講演会を開催しました。講師に大阪市立大学医学部附属病院・がん専門看護師の鶴田理恵さん、訪問看護ステーション・ハートフリーやすらぎの認定訪問看護師の大橋奈美さんを招き、「アドバンスケアプランニング(ACP)について学び考える」というテーマでした。現在の医療において、最も関心のあるテーマであり、87名もの多くの方に参加していただきました。

鶴田さんには、意思決定支援、ACPのすすめ方等、事例をふまえACPの基本について講義して頂きました。大橋さんは、訪問看護を通しての貴重な事例から、たくさんの学びを得ることができました。一人暮らしの方の死後の財産管理問題を解決し不安を軽減した事例、肺がんでありながら、喫煙を希望する患者さんの希望をかなえた事例、難病でありながら、人工呼吸器をつけてまで生きたくないと考える患者さんの事例を通して、その人の尊厳を守ることの大切さを学びました。ACPという言葉を通して、患者さん、人との関わり・家族との関わりについて改めて考える機会となり、自分自身の生き方についても考えさせられる機会となりました。

同窓生の関心も高いテーマで久しぶりに参加した方も多く、よい講演であったという意見が多くあり、盛況のうちに会を終了することができました。講演会の後には同窓生それぞれが昔話に話を咲かせたり、会食に出かけたりと楽しいひと時を過ごすことができていたようです。



第7回開高健関西懇親会 総会・講演会・懇親会

とき：平成30年12月15日(土)13:00～

ところ：梅田・文化交流センター 大セミナー室

2018年12月15日(土)、第7回開高健関西懇親会総会・講演会・懇親会が大阪駅前第2ビル6階文化交流センターにて34名が参加して開催された。来賓として荒川学長にご出席いただいた。総会では、2018年活動報告・2019年活動計画が報告された。講演会は、京都大学教授細見和之氏に「書く悦び 書く苦しみ -作家開高健が生まれるまで-」と題して、開高健文学を語っていただいた。懇親会では、たる出版にご協力いただき、恒例の抽選会もあり、和気藹々と開高健を語り合った。なお、2019年総会は、2019年12月14日(土)に決まった。

悠久忌及び「開高さんを偲ぶ会 ト里斯バーと開高健一」開催

とき：平成30年12月9日(日)

ところ：近鉄南大阪線・北田辺駅 開高健文学碑前他

2018年12月9日(日)、開高健を偲んで、近鉄南大阪線・北田辺駅 開高健文学碑前にて、大阪市立大学同窓生、天王寺高校同窓生、開高ゆかりの北田辺住民等、約40名が参列して悠久忌が執り行われた。開高健記念会福井より提供いただいた越前水仙を、献花者が思い思いに選んだ開高健名句・名言の短冊を添えて開高健文学碑前の献花台に捧げた。

悠久忌終了後、午後5時より近くの友愛センター北田辺にて、「開高さんを偲ぶ会ト里斯バーと開高健一」が開催された。会場では、トリスウイスキーを味わいながら、ト里斯バーで提供されていた代表的なおつまみ・塩豆をはじめ、干しブドウや黒豆をつまみに開高さんを偲んだ。トリスウイスキーのCMをプロジェクターで映しながら、高山副会長からト里斯バーの取材の思い出等のお話があった。

2020年は、開高健生誕90周年を迎えるので、開高健関西悠久会に、若い世代に開高健の魅力を知ってもらえるような事業を、大阪市立大学創立140周年事業と連携しながら企画検討してもらいたいとの発言があり、その提案に出席者全員が拍手をもって賛同した。

開高健関西悠久会会員 上村修三



開高健関西悠久会会員 上村修三

第8回大阪市立大学卒業生のためのビジネス交流会 in 大阪 開催

とき：平成31年1月26日(土)

ところ：大阪市立大学医学部附属病院 18階会議室

第8回を迎えたビジネス交流会は厳寒のなかにかかわらず25名の参加がありました。

いつものように寺田和紀(経平18卒)さんの進行でオリエンテーション、アイスブレイク、その後ゲストスピーカー山下徹(法平3卒、東京海上日動火災保険(株)神戸損害サービス部長)さんから

①ボート部主将として苦労したことなど、主に市大時代の想い出。

②損保商品についてのアドバイス。特に風水害、地震等天災の多発で損保間の迅速な保険金支払いサービス競争が激化しているので些細な事でも損保会社に連絡すべきであり、また日進月歩で新商品が出ており既契約の見直しも重要。

③上司としての心構え。●何事にも明快●公明正大●わかりやすい上司である事のお話をいただき、今の市大ボート部の大活躍にエールを!で講演終了となりました。そして参加者同士が交流を深められるように企画されたグループワークで頭をほぐし、懇親会での美酒、美味効果でいつもながら有意義、愉快な交流会となりました。

次回は2019年7月27日(土)を予定していますので多くのご参加を期待しています。

吉田 稔(商昭50卒)



工学部同窓会第30回評議員会

とき：平成31年2月16日(土)

ところ：ヴィアーレ大阪 2F「サファイア」

2019年2月16日(土)午後3時からヴィアーレ大阪2F「サファイア」にて工学部同窓会第30回評議員会が開催された。黒山泰弘理事(土木昭50卒)を議長に選出し、審議を開始。最初に1号議案2018年度事業報告が行われ、2号議案2018年度収支決算(東山理事)及び会計監査報告(志野監事)があり、3号議案2019年度理事会役員案が提示され承認された。昨年12月末をもって第23期終了のため、黒山会長の退任挨拶で締め括った。

次いで次期会長宇野勝久氏(建築昭49卒)の就任挨拶の後、4号議案2019年度事業計画案、東山会計より5号議



案2019年度予算案が提示され承認された。

冊子版となった全学同窓会報については、工学部は12,500部を発送した。また毎年2月に行ってきた工場見学会も時期的に多忙なため、9月実施に変更の方向となった。

評議員会に引き続き、午後4時30分からヴィアーレ大阪2F「エメラルドルーム」にて「工学部同窓の集い」が開催された。工学研究科長の長崎健教授から大阪市立大学の現況について、挨拶を含めた話の後、児玉隆夫全学同窓会長、牧野忠廣有恒会副会長を含む52名が参加し、大いに親睦を深め午後6時閉会した。

第13回全国支部代表者会議開催

とき：平成31年3月9日(土)

ところ：学術情報総合センター1階文化交流室

「平成」の元号のもと最後となる第13回有恒会支部代表者会議が平成31年3月9日(土)学術情報総合センター1F文化交流室にて開催され、北は北海道、南は鹿児島から26支部が参集した。

まず有恒会創立130周年事業の一環である“有恒会アワード”についての結果報告と30年度の活動結果に続き、31年度計画が発表された。優秀賞は愛知支部の『市大サロンの開設・運営』が選ばれ、特別賞には東京支部他5支部が受賞。同窓生の確保はもとより、市大に広く関心を持ってもらうための分科会活動や地域に根ざした講演会の開催などの実例報告がされた。また荒川学長より新法人、新大学の実現に向けた途中経過や140周年記念事業計画、2025年の関西・大阪万博を見据えた学生万博パビリオン構想の話も展開され、「ここだけの話」も提供され、参加者を魅了した。続いて神田副理事長より140周年記念事業の報告と協力の呼びかけがあり、内容の濃い2時間の会議が閉会した。





生活科学シンポジウム

とき：平成31年3月16日(土)

ところ：学術情報総合センター1階文化交流室

2019年3月16日(土) 学術情報総合センター1階文化交流室において大阪市立大学生活科学シンポジウム『食生活を科学する』が開催されました。

はじめに、岡田進一研究科長より本シンポジウムの開催趣旨について説明がなされた後、羽生大記教授の司会のもと、食・健康科学講座の4名の教員による教育講演が開催されました。

中台枝里子准教授による「長寿と食事の関係を科学する：長生き線虫さんの食生活」、金東浩准教授による「日韓の食生活を支える発酵食品を科学する：あなたの健康を守る微小な生き物たち」、安井洋子准教授による「ダイエットを科学する：あなたの選んだダイエット、大丈夫?」、上田由喜子准教授による「アスリートの食生活を科学する：このお弁当でレギュラー奪取！」と、各先生の研究分野の立場から『食生活を科学する』講演内容でした。

特別講演では、元辻調理師専門学校日本料理特任教



授・谷口博之先生が「日本料理を科学する：伝説の釣り・食紀行オーパ！」(開高健著)調理担当者が語る日本料理の真髄としてご講演されました。谷口先生は、市大の卒業生でもある作家、開高健氏の釣り・食紀行に調理担当者として同行され、料理の楽しさ・時には大変さ、いかに美味しいそうで、

かつ美味しいするかについて現地で奮闘されたことを多くの写真とともに紹介していただきました。

さらに、「日本料理とは引き算の料理である。」という言葉から、日本料理の最も基本となる出汁について、また、箸や包丁などの調理器具についても解説していました。日本料理は、五つの料理法(煮る・焼く・蒸す・揚げる・生食)、五色(赤・青・黒・白・黄)といわれるよう、「五」が大切にされています。そして、私達の「五感」を研ぎ澄ませることができるもの日本料理であることを改めて気付くことができた大変有意義で貴重なご講演でした。

今回のシンポジウムをご担当されました先生方、ありがとうございました。

平成31年度医学部新入生入学祝賀会

とき：平成31年4月4日(木)

ところ：医学部大講義室

4月4日(木)午後2時から医学部大講義室で行われ、入学手続き直後の新入生のほぼ全員とその家族、それに教職員を含め総勢二百数十名が参会しました。

大畠建治医学部長挨拶、平田一人附属病院長祝辞、田中肇同窓会副会長祝辞のあと、主だった各科の教員8名特に本校卒業者が登壇して自己紹介され、次いで医学部6回生田中和佳奈さんの在校生歓迎の辞が述べられた。

そして首藤太一教務委員長による学生生活の現況と本校生としてあるべき指標といった内容、最後に板金広同窓会副会長がガイダンスと同窓会活動の意義を、また医学部の象徴「智・仁・勇」のうち特に仁のあり方



について熱弁を振るわれました。

医師の(受精)卵たちは一同喜色満面和氣相々のうち、後席を埋めた家族は圧倒的に母親の晴れ着姿が多く、ここ数年誠に華やかな雰囲気であります。

式典の後1階ホールでの茶話会と中庭の園遊会は今年こそぴったりの満開の桜が文字通り花を添えました。

医学部OB、OGたちも白衣のままばつぽつ参加し夕刻まで歓談しました。本年度新入生は95名、うち女子が28名でほぼ30%と依然高率、偏差値も近年上昇中で国公立医学部中屈指の上位とのことです。

田中祐尾(医昭44卒)

大阪医史蹟巡り

② 懐徳堂

享保九(1724)年、大坂は尼崎町(写真①)
 ショウハイイコウ
 に江戸の官学昌平齋と肩を並べる学校ができ、こちらは有力商人たちの拠金で三宅石庵(1665~1730)を学主に据え「懐徳堂」(写真②)
 セキアン
 カイトクドウ
 と命名、それまで不毛といわれてきた大坂という土地の文化と主に商人たちの道徳心を養う道場となった。士農工商という厳然たる身分社会にその後存立し続け、町人と士分が同等に机を並べ、極めて高度の教育と研究が展開した(③)。第四代中井竹山(1730~1804)、その弟中井履軒の時代に全盛期を迎える、時の老中松平定信の行った「寛政の改革」に遭っては幕閣に尾藤二洲(④)・柴野栗山・古賀精里といった儒者たちが懐徳堂経由で送り込まれ、朱子学による幕政の確立に貢献した。一方関西を訪れる知識人は大抵懐徳堂に立ち寄り、論壇尽きることなく懐徳堂の門下生からは富永仲基(仏教批判の哲学『出定後語』)・山片蟠桃(天文学・道德・宗教を解いた『夢の代』)・草間直方(貨幣と物価の史的分析

『三貨図彙』)ら近代大坂の「知の巨人」を輩出する。明治二(1869)年、懐徳堂は145年の歴史を閉じるが大阪財界言論界の支援を得て一旦「重建懐徳堂」(⑤)と称してその総ての遺産を公開し「市民大学」として再建される。昭和二十(1945)年の大空襲でコンクリートの書庫を残して全焼、昭和二十四(1949)年に現在の大坂大学文学部が独立し、この戦災を免れた膨大な書籍資料が豊中キャンパスに移され、現在に至っている。

懐徳堂の建物には朱子学を含む儒学の教室と孔子が教えた宗教としての儒教の祭壇(⑥)や位牌(祠堂と神主という)を据える空間があり重建懐徳堂にも受け継がっていた。今は東京湯島聖堂に正式な構造が遺るのみである。

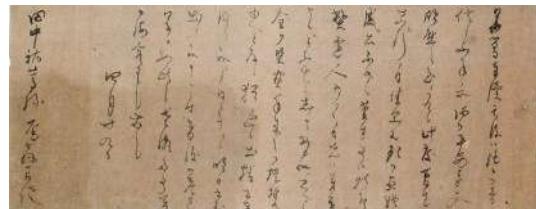
18世紀の初頭、何故この大坂の地に当然のようにこのような高度の知識を吹き込む学校の出現が可能だったのかを一考すると、先ず河内國大和川の改修に幕府が乗り出し、度重なる氾濫を防いで一挙に1060町歩近い新田を開発して農民大いに潤い、綿作と菜種油(食用と灯油)が米作を支え「水路を利用して大坂市内の商業を農業が支える」といった理想的経済圏が育ったこと。安井道頓や河村瑞賢といった工人商人たちが市内安治川・尻無川・木津川といった河川の拡張や埋め立て、運河や堀の掘削といった工事を進め、全国からの水路を利用した交易の一



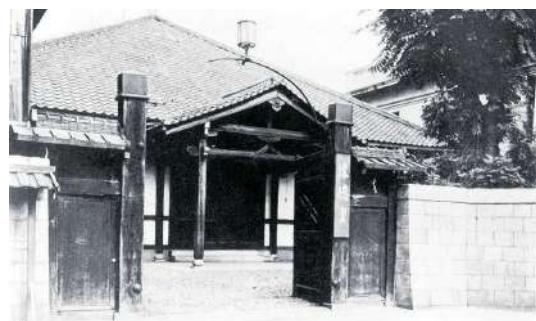
①



③



④



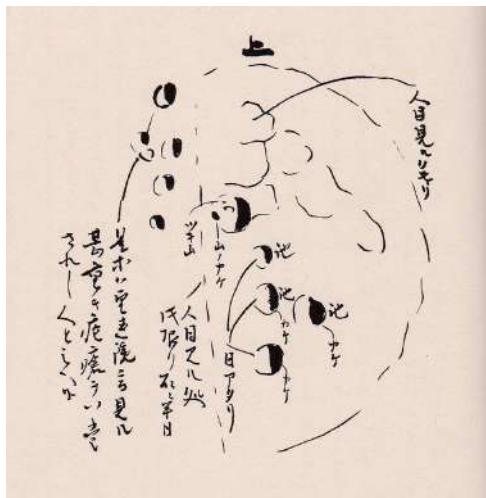
⑤



②



⑥



⑦

大集散地となったこと。中之島に全国の大名の米蔵が集積し、18世紀初頭に既に商業大いに興って両替商や廻船問屋などが集まり、計算や筆記を瞬時にこなさなければ商売が成り立たなかった事情など。各商人は番頭から手代丁稚に至るまで「読み書きそろばん」の実地教育が必要であり、この時期寺子屋の数が二千を超えたという研究がある。この様な社会事情があり、より一層の庶民階級の知識欲と、指導者層はと言えば、江戸の儒学に負けない政治哲学の競合を目指す覇気があった。

一方において朱子学とは我々が今思うような堅苦しい学問ではなく、とくに中井竹山の実弟履軒の解く学説は今でいう自然科学志向が強く多くの学者が集まった。

大分杵築藩主の侍医綾部正庵(1734~99)は恵まれた境遇にも拘わらず脱藩して大坂へ移住。学問への欲求止みがたく天文学に熱中、漢訳洋書で明朝版『崇禎曆書』がベースだった天文学の理論と実測技術を高めるべく当時の知識の殿堂懐徳堂の中井履軒に接して自身も船場に私塾を営む。武家町人の別なく理系の弟子たちを育て自身も麻田剛立^{ゴクリュウ}と改名する。封建社会のただ中で脱藩した罪人をこのように受け入れてしまう自由が当時の大坂という街にあったのである。当時の太陰暦には誤差が多く、のちに「ケプラーの法則」にたどり着いたといわれる剛立の天文学(⑦⑧)を認めた幕府は寛政七(1795)年に改暦事業のため剛立を招聘したが観測に忙しいという理由で



⑧



⑨

弟子の高橋至時と間重富を送り、彼らは見事な公暦(寛政暦)を完成して日蝕の正しい時間まで同定する。懐徳堂のある日、履軒は剛立に人の内臓の在り処を問う。二度の腑分けの経験を持つ剛立は以後数回に亘って獣の内臓を持参して示し、これらの筆記を清書して履軒は彩色木版画15葉入りの『越俎弄筆』(⑨)を著した。題意は「(文人という)専門外の人間が(解剖学という)他人の領域を冒して勝手なことを書く」という意味。杉田玄白が『解体新書』を著した1年前安永二(1773)年のことであった。

(医昭44年卒 田中祐尾)

写真説明 ①現在の中央区今橋三丁目日本生命本社ビル南壁面にある懐徳堂記念碑。再建された重建懐徳堂と共に建物の遺蹟はない。 ②初代学主三宅石庵揮毫の掲額 ③『撰津名所図会』に載る「伊藤東涯講義図」。武士も町人も同列で忙しい人は中坐自由だったという。 ④幕府儒官として出仕した尾藤二洲が河内彌性園主八代田中祐篤(筆者の五代遡った先祖)に送った書簡。「預かった菅某なる書生、何とかものになりそう」などとある。 ⑤東区本町橋東詰に大正五(1916)年再建された重建懐徳堂。敷地134坪。多くの書籍と資料に常任の教授・講師が当たった。 ⑥昭和14年重建懐徳堂の祠壇から神主位牌に向かい、儒教の祭祀に則った告文を読む中井竹山の曾孫中井木菟麻呂氏。 ⑦麻田剛立の筆記した「月面観測図」 ⑧麻田剛立顕彰墓碑。天王寺区淨春寺 ⑨中井履軒筆「越俎弄筆」彩色人体解剖図の胸腹部頁。安永二(1773)年刊。

《参考文献》

- 「懐徳堂研究」湯浅邦弘 2007 汲古書院
- 「懐徳堂 浪華の学問所」2001 懐徳堂記念会 大阪大学出版会
- 「大分県先哲叢書 麻田剛立資料集」1999 大分県教育委員会
- 「杏雨書屋 田中彌性園文庫から見た近世大坂の医学」
- 2011 武田科学振興財団

懐徳堂跡

大阪市中央区今橋三丁目5

日本生命ビル南側壁面

地下鉄大阪メトロ御堂筋線・淀屋橋駅

⑧番出口よりすぐ



around the medical

heritage in Osaka

論壇・隨想

「最後のフロンティア」 アフリカとの出会い

小西 悟(商昭47卒)

アフリカは「最後のフロンティア」と呼ばれている。1988年3月南部アフリカのザンビアにある三菱商事の子会社丸ノ内自動車への出向を始めとして昨年9月の南アフリカプジョー販売会社を退職するまで足かけ四半世紀に亘るアフリカビジネスに従事してきた。

ザンビアは南アフリカより2時間の飛行時間にある英語圏で、銅生産を主体とする典型的なモノカルチャー経済であった。丸ノ内自動車では従業員120人程の三菱自動車正規輸入代理店の副社長として現地の白人社長の下、精神的にタフな5年間を過ごした。現地生活・習慣等にも慣れライバル三井物産と競合しつつトラック・バスは三菱製、乗用車はトヨタ製(三井物産扱い)とザンビア政府による車のStandardizationに成功することが出来た。

2005年久方ぶりにザンビア入りした際、依然三菱自動車製トラック・バスが圧倒的存在感を誇っている光景を目の当たりにし、何とも言えぬ感情が込み上げて来た。同国にはその後、2度駐在した。2012年～2014年4月には南アフリカ三菱商事ヨハネスブルグ支店駐在兼ザンビア丸ノ内自動車(㈱)社長として2年間、毎週月曜に夜便にてザンビア入りし、木曜日に戻る生活を送った。最終的には従業員の解雇なく地元資本に売却する事ができ、依然同社と



ザンビアより隣国コンゴへ出張時の配属先のザンビア政府開発庁輸出課長と。

は三菱製自動車取引が南アフリカ三菱商事経由行われている。2015年4月～2017年3月にはJICA投資促進アドバイザーとしてザンビアに派遣された。

南アフリカには1999年3月～2013年4月まで異例な連続14年間三菱商事ヨハネスブルグ支店に駐在した。この期間中、南アフリカの現ラマポーザ大統領(当時はビジネスマン)、昨年まで37年の独裁政権を握って来たジンバブエのムガベ前大統領、ザンビア元大統領カウンダ氏等の国家元首と面談する機会を得た。アフリカ最後の駐在として2017年4月～昨年9月は南アフリカプジョーシロエン販売会社のお目付け役として大好きなヨハネスブルグでの駐在生活を満喫した。同駐在時代にはケニア、タンザニア、ウガンダ、ザンビア、モザンビーク(ポルトガル語が主体)等の南東部アフリカの英語圏を中心にビジネスを行ったが、特に1990年代より2000年代にかけ世界最大手の資源会社BH・Billiton社他との合併としてモザンビークに建設されたアルミ精錬工場及び2000年後半鉄鉱石最大手ブラジル、バーレ社のモザンビーク石炭プロジェクトにも関係できたことはそのプロジェクト規模、モザンビーク国への裨益効果及び日本の存在感を示せた面で忘れられない案件であった。

社会で自立して生きるということ

北浦(嵯峨山)かほる(生昭38卒)

住まいの絵本館(NPO法人子どもと住文化研究センター)活動を始めて5年になる。

学生時代はデザイン大好き人間で、設計事務所に就職し元気いっぱい働いていたが、ある日今は故人の恩師から助手にならないかと誘われてふと気が変わり、古巣の住居学科の教員という、想定外の道を歩むことになった。

90年代の末に、絵本に出てくる住情報を学生や院生の論文のテーマにしたのがきっかけで、住まいの絵本の魅力にはまってしまった。市大退官後の私学勤務時代も、住まいの絵本を収集し続けて來たので膨大な量になった。建築関係の本はすべて処分したが絵本は捨てられず、小さな住まいの絵本館を設計して建てたのが始まりである。

住まいの絵本を使って、子どもの空間や住まい方、住文

化などを親や子ども達に、分かり易く伝えていきたいとメンバーの、教え子や友人・知人と試行錯誤してきた。

北海道～沖縄まで全国の夜間保育園や、数少ないが存在する北欧や欧米の夜間保育園の調査を行っていた現役時代に、2歳までの幼児では、真夜中に迎えに来た親と子の雰囲気は一致しないが、3歳以上になると名前を聞かなくても雰囲気で親子関係が分かったことが印象に残っている。幼児の成長期における親の影響力の大きさを実感した。

自立や自己主張を養育目標とする文化から考えると、日本の川の字就寝の問題点が見えてくる。

Bedtime-story分野の翻訳絵本にはイメージ空間として表現された幼児寝室での、幼児の自己主張や自我獲得過程が様々に興味深く描かれている。

親は毎日就寝時にお話をしたり、本を読んでやることで、子どもとの信頼関係を築いている。欧米の親の養育目標は、子どもにself-esteem(自尊意識)を持たせ、自己主張出来るようにすることである。

世界で学力トップクラスのフィンランドや、欧米の子ども達の保育や教育のシステムも、知識や技術を教え込むことよりも、主体性・自主性を伸ばすことに重点が置かれている。

自己主張出来ずいつまでも幼い学生を目にする、日本の教育システムや親が気になる。

たぬき村もキツネ村も暮らし方は『みんなおなじ』1991とする日本の絵本に対して、『あそびにきてね』1993(米)の文化では、暮らし方はそれぞれの家で違っていて当然となっている。

同調圧力の強い文化の下では自己主張がし難く、忖度する国民性が求められる。そのため自尊意識は、自ずと低くなっていく。

個人が社会で自立して生きるということ、とはどういうことなのか？ 住まいの絵本はそうした疑問を考えるきっかけ



「暮らしを豊かにする昔」住まいの今昔館で、ワールドカフェの様子

けにもなっている。

今、北欧では主体的に自分の生活を組み立て、たとえサポートされる立場にあっても、自分の価値観を大切にし、社会とのかかわりを構築する生き方が模索されている。

宮中歌会始に入選して

荒木紀子(家政昭37卒)

第一報は12月12日夜宮内庁からの本人確認と候補に入りましたが絶対に他言しないで下さいと電話がありましたので、一次予選通過したのかなアと思っていましたら15日に文書が届き十名の予選者に選ばれたのだと初めて解りました。新聞発表までは秘守して下さいとのことでした。まさか自分が入選するなんてと驚くと共にあまりの光栄にわなわなと震えました。前泊ホテルや同行者の報告、宮内庁への書類などを早急に返送せねばならずてんてこ舞いをいたしました。

大の字の交点にまづ点火され光の奔る五山送り火



天皇陛下からいただいた記念品(短冊簪)

この歌は昨年8月16日に京都白川通りで会社の会長をしている高校の同級生が招待してくれて、自社ビルの屋上からま近に五山送り火を見させてもらいました。同級生たちと凄いすごいと感動した時のものです。

平成最後の年に宮中松の間での歌会始に出させていただき終了後別室で両陛下をお待ちしておりました私たちのすぐ前にお立ち下さって一人ひとりにおことばをいただきました。天皇様は「ま近で見る五山送り火は凄いでしょうね」皇后さまは「お身体に気をつけてこれからも歌を続けて下さいね」とおっしゃって下さいまして有り難くてただただ涙がこぼれました。9時に坂下門入り、4時に東京

駆へマイクロバスで送り届けてもらうまで濃密なスケジュールで、記者会見や選者の先生方からの歌評を伺うなどの夢のような体験と感動にあふれた一日がありました。

今回の入選は私個人の喜びだと思っていたのに思いがけなくも同窓生をはじめ多勢の方がたに喜んでいただきました。改めてこれまでに結んできた皆さん方とのつながりや絆を思い多くの方々に支えられていることに感謝しています。

大学卒業後は高校で家庭科教諭をしてきて短歌とは無縁の生活でしたが、52歳の時長女の結婚式に感動してふと短歌が湧きあがりました。何気なく新聞の歌壇に投稿したらなんと三席に入りましたのが短歌へのきっかけになりました。親の介護のため55歳で早期退職してから短歌を学びはじめて24年が経ちました。長く中断していた茶道も、平成へ改元されたのを機に再開して現在は、母校で茶道講師をしています。薬師寺での奉仕活動も二十年余になりました。

「学ぶこと」「何かを始めること」は何歳からでも遅くはないし「継続は力なり」の格言も改めて諾っています。

遅いスタートではありましたがあと短歌を続けてきて良かった。傘寿の今春に元気に皇居へ参内できることも良かった。いろんなことに感謝するばかりです。

平成最後の建白書

鳥居貞義(経昭34卒)

2013年に「平成最後の建白書—未来との対話—」を上梓しました。本文は『平成最後の建白書』と題して、主として国際政治に関する考えを述べてみます。

外交問題 その1 日露問題

提言: 平和条約を優先する。

反応: ロシア・プーチン大統領は自説と一致するので歓迎(賛成)する。

効果: ロシア国内(モスクワ、ウラジオストック、北方四島)市民運動を冷却させる効果がある。

要求: ロシア領内で日本人遺骨収集と墓碑建設要求する。

反応: ロシアは賛成する。

プーチン大統領は日本国内のロシア兵墓地の存在を認識し石碑を建立している。

効果: 松山市、堺市浜寺、泉大津市等々各地に存在するロシア兵墓地の存在と日本人ボランティアによる維持管理メンテナンスなどの実態をロシア市民に広く知らせることでロシア市民が要求している大衆活動を冷却させ日本側の要求が達成できる。日本人遺骨収集と墓碑建設は平和条約を優先することで可能になる。

外交問題 その2 日韓問題

提言: 朝鮮半島の南北統一後の政治制度を如何にするか?について公にするように要求することで韓国文政権は窮屈に立ち崩壊する。在日韓国人の保護を明言する。

反応: 北は現体制維持、南・文政権は民主化を主張する。混乱する。

効果: 現体制での南北統一は非現実的で、不可能であることを両国民に自認させる。

慰安婦問題、徴用工問題、レーダー照射問題で支持を得ようとしている文政権は崩壊する。

日本の対応: 隣国の混乱は大迷惑であることを世界に訴え、文政権の非友好的行動中止させる。慰安婦問題、徴用工問題、レーダー照射問題を誤報することは世界平和に反する行動であることを広くPRする。

平成最後の建白書(平成の建白書続編)

外交問題 その3 交渉を長期化させない。大衆運動にさせない。

日韓問題: 従軍慰安婦、徴用工問題は悪化(相手だけが大衆運動化)させた。大衆運動は交渉不可能な最悪の事態である。

日朝問題: 拉致被害者奪還問題、解決の見通し無きままに日本側が大衆運動化した。長期化は失政といえる。成功例は小泉首相の短期奪還策だ。

日韓問題: レーダー照射問題、主張が正しければ相手にせず判断を後世に任せれば良い。従軍慰安婦、徴用工問題は過去の戦争にも常にある問題、例えばベトナム戦争において米国側に味方した韓国軍も例外でないことを認識させるべきである。

国内問題: 有識者会議では問題は解決しない。問題解決には知恵が必要!

国際問題 その1 収斂型選挙制度 テスト試行

問題点: 現行の選挙制度は制度疲労、乃至は制度欠陥。

事例1: トランプ大統領誕生 1年間をかけた選挙活動の中盤までは民主党クリントンを次期大統領と予測していたが結果は逆転した。

事例2: 英国のEU離脱投票 選挙結果が出るまでは残留組が優位を占めていたが結果は逆転した。

私の提案する収斂型選挙制度とは同じ選挙を“結果を見てから”短期間で“3度行うことである。

人は結果を見て投票するとバランス感覚が働いて最初の結果を是正する方向にある。3度行うことで納得性が高まる結果が得られる。これを収斂型選挙と名付ける。

マカオの挑戦

医学部同窓会会長 生野弘道(医昭44卒)

2018年12月31日、マカオ・ワインパレス・ホテルの大会議場で、IBF世界フライ級タイトル戦12回戦が行われた。IBF世界フライ級チャンピオン・モルティ・ムザラネ(36歳、南アフリカ)に、同級14位・坂本真宏(27歳、WBOアジアパシフィック・フライ級チャンピオン)が挑んだ。枝川六島ジム会長、武市トレーナーがセコンドを努め、大阪市立大学拳闘部の応援団等が声援した。



大阪市立大学拳闘部

【第1R】美しいスタイルから繰り出される両者の鋭いパンチに魅せられた。しかし、中盤以降、ムザラネの左右からの鋭いフックが坂本の顔面、ボディーをとらえ、チャンピオン優勢のラウンドとなった。【第2R】も坂本を上回る手数で、チャンピオンがこのラウンドも優勢であった。【第3R】は坂本の左ボディーから左右ワンツーパンチがチャンピオンの顔面を捕らえ、挑戦者優位のラウンドとなった。【第4R】坂本の左右からボディーが効果的であったが、チャンピオンも鋭い左右フックが決まり、ドロウであった。【第5R】激しい打ち合いとなり、市大拳闘部の“サカモト”“サカモト”的大声援が館内に鳴り響き、世界タイトルマッチも大いに盛り上がった。互角のラウンドであった。【第6R】36歳という年齢から後半は衰えると見ていたが、ムザラネの左右フックが坂本の顔面を的確にとらえ、チャンピオン優勢のラウンドとなった。【第7R】はムザラネの鋭いジャブが効果的パンチとなり、坂本の出鼻が挫かれ、チャンピオン優勢であった。【第8R】ムザラネのパンチが坂本の顔面に決まり、チャンピオン優勢のラウンド。【第9R】坂本に少し疲れが見え始めた。このラウンドの終了後、坂本の右目の腫れが目立ちドクターチェックが行われたが、まだ視野は得られていると試合は続けられた。【第10R】坂本は勝負に出た。打たれても前進、そしてタイミングの良いパンチをチャンピオンのボディー、顔面を捕えた。チャンピオンも戦いに挑み、壮絶な打ち合いとなった。しかし、両者とも相手をマ

ットに沈める決定的なパンチを放つことはできず、ドロウのラウンドとなった。ここで二度目のドクターチェックがあり、坂本に戦意は十分あるも、視野が得られないと判断され、ドクターストップとなった。

ムザラネは前評判通り強かった。手数も多く、精度の高いジャブ、外からの顔面攻撃、内からのボディー攻撃は効果的であった。坂本のガードは強固で、今までの相手では顔面を打たれることは少なかったが、ムザラネの技術と豊かな経験がそれらを擊破した。一方、挑戦者坂本の打たれても前進するファイトは、最後までムザラネに勝っていた。今後、ガードをさらに強化し、パンチ力を強化すれば、倒せる相手だと確信した。

試合後しばらくして、右目が塞がった状態でリングサイドまで近寄り、“応援していただいた多くの皆さんに申し訳ない”と礼儀正しく挨拶。闘い終えた後輩を心静かに励まし、“マカオの挑戦はまだ始まったばかりではないか”と呟いていた。



第10ラウンド 坂本の左目が腫れているも、激しい打ち合いとなった

大阪都構想について

山幡一雄(経昭38卒)

住民投票を急がずに

大阪ではクロス選挙として全国の注目を集め松井～吉村コンビが勝利しました。大阪都構想は橋下徹が提案し住民投票では僅差で敗北し市長を引退しました。そもそも大阪都構想を急いで住民投票するというのは沖縄の基地問題を住民投票するのと同様に無理があります。沖縄の基地問題の実態は日米安全保障の問題で全国的な課題を辺野古基地問題に摩り替えてシングルイシューで住民投票するからで全国的なテーマを沖縄のみで投票するから住民は複雑な思いです。

大阪都構想には大阪市内の合区をどう進めるかが最重要課題なのに合区の議論をさせて大阪都構想や住民投票の是非ばかりを問うと同じく問題が分からず混乱します。

論壇・随想

本質は合区 合区するとどうなるか

大阪市内を5~8区に分割・合区すること自体に各党の反対はありません。人口が一区あたり30万~60万、予算規模も1500~3000億に巨大化します。人口3~5万人規模でもみんな市議会、町村議会があり住民代表が税金のチェックをやります。大阪市内の合区が実現されれば各区には10~20人の議員が誕生しますが各区に所属する議員は区議会を構成せず地域代表として1500~3000億円もの区の予算決算のチェックをしないのでしょうか。区長は公選されないのでしょうか。新たに区議会が誕生し、区長が公選されることになれば従来の大阪市議会、大阪市長はダブルことになり二重行政とされる大阪府市は必然的に統合されることになります。このような住民自治に基づくボトムアップの議論の積み重ねが大阪都構想です。

合区し16~19区が無くなれば地名や不動産の評価が変わり、前の区の各種団体や補助金も全てなくなります。したがって合区は年配の人ほど、地域に愛着ある人ほど反対し切実です。

合区の難しさは中央区の合区を体験した方には良く分かります。

東区と南区の合区は10年の歳月を要し住民も辛い思いをしました。大阪都構想を進めるには住民投票を急ぐことなく府市民が共に考えて合区の議論を進めて東京一極集中に終止符を打てるかの4年間としたいものです。



大阪を夢見て・市長公館にて磯村市長を囲んで 1996年春
後列左より:山幡市民局長 関助役 阪口助役 佐々木助役 一入市民部長
前列左より:磯村市長 坂本地域振興会長

大阪を夢見て

合区が超党派でまとまれば人口800万の大坂都=スーパーシティ大阪の実現に向かいます。海外から見れば人口800万の大坂都はロンドンシティ、上海市、シカゴ、パリと並ぶシティ=都市です。

大阪はローカルな政令市から脱却し、大震災の懸念がある東京都をバックアップする副首都として五代友厚、関一、中馬馨、磯村隆文が夢見ていた「大阪」の実現こそ都構想の目標とするところです。

江戸時代、大坂は江戸と並ぶ二眼レフとして天下の台所と呼ばれ文化、経済の中核の地位を長らく占めてきた歴史は再び繰り返されるのでしょうか。

大阪市大の淵源は 五代友厚と福澤諭吉

江並一嘉(商昭32卒)

現役退職後、(公財)関西・大阪21世紀協会に所属し現在「なにわ大坂をつくった100人」の刊行に取り組んでいます。すでに上・中巻は発売されており、下巻は明年3月に発行の予定です。小生も100人の内15名を担当し下巻では、木村兼葭堂(町人学者)、吉向治兵衛(陶芸家)、緒方洪庵、緒方八重(洪庵夫人)、福澤諭吉を執筆中です。本文は、本記とフィールドノートにわかれ、本記では略歴を簡単にまとめ、フィールドノートでは各人が現代の大阪に残した足跡を調べ特記しています。

最後(100人目)の福澤諭吉は、大坂生まれで緒方洪庵の「適塾」で塾頭を務めたことは「福翁自伝」に活写され有名ですが、「適塾」以降の大坂での足跡があまりなく困っていました。

平成30年10月19日大阪大名誉教授の宮本又郎先生の講演、「明治維新150年 関西を作った企業家たち」があり、講演の中ほどで五代友厚と交友のあった福澤諭吉の論文「商学校を建るの主意」が、1880年(明治13年)市大の前身である「大阪商業講習所」設立の契機になったという話が耳に飛び込んできました。

講演の後、懇親会で宮本先生にお話の内容を確認し、帰宅後、「大阪市立大学100年史全学編」を紐解きました。冒頭の第1節「大阪商業講習所の誕生」に26ページにわたり設立の経緯が詳細に記されています。要旨はつぎのとおりです。

五代は1868年(明治元年)明治新政府より参与職外国事務掛に任命されエリートコースに乗るが、薩藩士族との軋轢が原因で翌1869年突然辞職し、大阪に新天地を求め経済活動に身を投じた。1878年には大阪商法会議所を設立初代会頭に就任している。五代は1877年に創刊された「大坂新報」を傘下におさめ、1879年かねてより親交のあった福澤に社員(記者)の派遣を要請し、福澤はそれに応じ慶應義塾を卒業した加藤政之助を丁重な紹介状でもって推薦している。当時26歳の加藤は、1879年(明治12年)8月10日大阪に着任、4日後の14日および15日の「大坂新報」に長文の社説「商法学校設けざるべからず」を書いており、この記事が商法学校設立の機縁になるが、じつはこの論説は加藤のオリジナルではなかった。即ち、福澤は1874年、後に文相となる森有禮の依頼により商法

講習所開設の趣意書「商学校を建てるの主意」を公表、翌1875年、東京に商法講習所(後の一橋大学)が開設されたが、加藤の論説はこの福澤の「商学校を建てるの主意」とほぼ同内容で、加藤は五代、福澤兩人合意の上での指示に従ったと推測されている。

以上のような次第で福澤諭吉が大阪市大の淵源に深くかかわったこととあらためて確認できました。またそれに先立ち1873年から2年間慶應義塾大坂分校を開いていたことを合わせ、福澤の大坂への故郷愛を感じることができます。

おわりに福澤、加藤両論の趣旨を「大阪市立大学100年史」14頁より引用します。

「開港以来、日本経済が国際化してきた当今、日本商人は、田舎の万屋(よろずや)同然の旧態依然たる有様を脱して、外国商人と対等に競争するようにしなければならない。そこで、商業学校を設けて近代的商業知識を学ぶことが不可欠であり、对外商戦に勝利することこそ日本商人の使命となる云々、となっている。明治初期、新興日本のナショナリズムの息吹あふれる文章といえよう。」

Mie Kotsu Group

三重交通グループは、安全、安心、安定、快適なサービスの提供を目指します。




三重交通 パウダールーム付き貸切バス「DREAM II」

名阪近鉄バス 貸切デラックスバス「浪漫II」



三重交通 路線バス

不動産



三交不動産 プレイズ住吉山之内

流通



東急ハンズ名古屋店(三交クリエイティブ・ライフがFC展開)



鳥羽シーサイドホテル
御在所ロープウェイ

レジャー・サービス



ますます便利に、快適に
三交インホテルズ

- 東京都
- 静岡県
- 愛知県
- 三重県
- 京都府
- 大阪府

2019.秋
オープン予定

● 運輸業 三重交通株式会社 名阪近鉄バス株式会社 三交伊勢志摩交通株式会社 三重急行自動車株式会社 八幡バス株式会社 株式会社三交タクシー

● 不動産業 三交不動産株式会社 株式会社三交コミュニティ 株式会社三交不動産鑑定所

● 流通業 三重交通商事株式会社 株式会社三交クリエイティブ・ライフ 株式会社三交シーエルツー 三重いすゞ自動車株式会社

● レジャー・サービス 株式会社三交イン 鳥羽シーサイドホテル株式会社 三交興業株式会社 御在所ロープウェイ株式会社 株式会社三重カンツリークラブ 株式会社松阪カントリークラブ

名阪近鉄旅行株式会社 株式会社三交ドライビングスクール ミドリサービス株式会社 三交ウェルフェア株式会社 三重県観光開発株式会社

三重交通グループホールディングス株式会社
〒514-0032 三重県津市中央1番1号 <http://holdings.sanco.co.jp>



ツカキグループ

TSUKAKI

ツカキ(株) 塚喜商事(株) 京都和装(株)
マリエクラッセ(株) (株)タムラ (株)京朋

Growing Together
~共に成長を~

社長 塚本喜左衛門(S46 経卒)

グループヘッドオフィス
京都市下京区烏丸通仏光寺上ル二帖半敷町661番地
〒600-8412 TEL. 075-341-3547(大代表)
<https://www.tsukaki.com/>

明日を拓く、先進の電設資材




ニシムラ株式会社

代表取締役社長 蔵岡 一彦
(昭和40年 経済学部)

本社 / 〒601-8104 京都市南区上鳥羽角田町32
TEL : 075-681-2331 FAX : 075-671-1041
営業所 : 京都府6 滋賀県5 東京都1 愛知県1 大阪府1
<http://www.nsmr.co.jp>

同窓短信

香りの世界旅行

上栗繪梨香(法平27卒)

夫が出張から帰ってきて小さな箱を手渡してきた。開けると、シナモン、カルダモン、クローブ。香りで一瞬にしてインドへ旅立った。私が初めて海外に行ったのは大学一年目、アイセックでベトナムに行ったときだった。排気ガスの合間、フルーツとパクチーとコーヒー。吸い込んで、ああここは日本ではないんだと思った。そのほか、チェコのビール、台湾の八角、トルコの空港のぱきっとした匂い、キューバの蒸したカリブ海の匂い。どれもすぐに思い出せる強烈な記憶になった。夫は間もなく駐在でインドへ行くらしい。本当に決まつたら私もついていこうと思っている。異国、無職、わかるのは新しい国の香りだけ。海外旅行は沢山行ったが住んだことはない。この香りのする国は、記憶以上の何かを私に与えてくるのか。それは自分次第なんだろうと思いつつ、スペイスからカレーをつくる方法を検索した。インド在住の先輩方がいらっしゃればご指導を仰ぎたい次第である。

次号執筆依頼 古川浩康(法平25卒)

パラトライアスロン

土田聰子(生平5卒)

現在京都府の小学校で栄養教諭として勤務する傍ら、マラソンやトライアスロンが趣味で、昨年よりパラトライアスロンのガイド(伴走者)をしています。盲ろう(視覚障害+聴覚障害)の中田鈴子さんという方のガイドです。スイムはロープで脚を繋いで並んで泳ぎ、バイクは二人乗りのタンデムバイク、ランは二人で伴走ロープを持って並んで走る、これが盲ろう者とガイドの二人三脚のトライアスロンです。中田さんは手話通訳を介して会話をしますが、競技を始めたらとにかく息を合わせるのみ! 練習中やレース前後は「チ



ムSUZU」のメンバーに真剣に且つ楽しく支えもらっています。そして経験の浅い私でも中田さんの前向きさとチームの皆に支えられて練習を重ね、世界トライアスロンシリーズ横浜大会という大きな大会で3位入賞に貢献することができました。皆さんもパラスポーツを観戦するだけでなく、色々な形で関わってみませんか?

次号執筆依頼 早川公康(生平7卒)

上海生活

真田哲章(経平25卒)

2009年市大のプログラムで華東師範大学に短期研修に来たことがきっかけで中国に興味を持った。そして今は駐在員として上海に住んでいるが、日本では考えられないスピードで生活が変化し続けている。

まずは買い物。今では何でも携帯アプリを通じて支払うため、財布を出すことがない。またネットショッピングが劇的に発展し、日用品やレストランの出前を始め、何でもネットで買えるようになった。現金を握りしめて町中のマーケットで値段交渉していたのが懐かしい。

次に交通。10年前は目的地まで紙の地図を見ながら地下鉄とバスを乗り継いでいたが、今はタクシー配車アプリや自転車シェアリングアプリなどで移動も格段に便利となった。

これらの変化には善悪両面あると思うが、一つ言えるのは今の環境が私にとって非常に良い刺激になっていること。中国はアイデアの宝庫であり、それをすぐに実現させる土壤がある。私達もここからたくさん学びたい。

日本の心

堂本秀美(法平14卒)

毎年新しい挑戦を続けてきた。昨年は茶道だった。

きっかけは、幼い頃より興味があり、また仕事で海外からのお客様をもてなす機会が増えた事だった。茶道といえば茶をたてるこどりがちだが、習い始めて作法の重要性を知った。茶室への入り方から始まり、茶をたてる所作を部分的に練習する「わり稽古」をする。実際に茶をたてるまでに約一ヶ月を要する。これは面白みがなく心が折れそうになる。次に「お手前」の稽古が始まるが、普段とは違う動きに戸惑い、案の定ここでも壁にぶち当たる。しかし、所作の意味を理解しながら稽古を重ねると自然と体が動

くようになる。そうなると感じるのが「心」である。同じように見える所作も茶の味も心で変わる。日本の伝統文化には華道・弓道・剣道と「道」がつくが、これは己と向き合い「道」を求める心を持ち続ける事が肝要と茶道を通じて学んだ。その清廉な心は、誇るべき「日本的心」だと感じ入る。

次号執筆依頼 本田拓哉(経平16卒)

グライダーで空を飛ぶ!

中村祐子(文平27卒)



私は市大に入学する以前に、学連の航空部で4年間グライダーに乗っていました。それからずっと、グライダーで飛ぶことが私の趣味となりました。

グライダーはエンジンのない小さな飛行機(滑空機)です。ハングライダーやパラグライダーとは別物です。離陸時は、動力機の力を借りて上がりますが、上空で単独飛行になると、静寂で澄み切ったグライダー独特の世界が広がります。ポジション、高度、速度を常に考えながら飛ぶことは、グライダーがメンタルなスポーツと言われている所以なのかもしれません。

グライダーで飛距離と速度を追及したクロスカントリーをするために、主人(自家用操縦士有資格者)のお供で、オーストラリアに何度も飛びに行きました。この時は1回の飛行で4~5時間、上空で果敢に攻めました。高度が低くなり飛行場まで戻れず、地元の農家の敷地に不時着した体験は今では宝物です(笑)

最近は飛ぶ(遊ぶ)回数は減りました。それでも窓越しにおいしそうな雲を見つけると「飛びたい!」と訳もなく楽しくなるのです。

小さなことではあるけれど

大森崇史(工院平25修)

最近訪日観光客が増え、日本も大分と変わってきた。電車の駅案内板は日本語、英語、韓国語、中国語を順繰り表示し、店頭での客寄せはハングルのプラカードを持って叫んでいる。駅構内で道を聞かれることは少なくなった気がする。そんな中、つい先日久しぶりに学生時

代の友人と白馬のスキー場に遊びに行ってきた(市大には格安で泊まれる白馬セミナーハウスがあるが、その存在を知る学生が一体どれだけいるだろうか…). 学生時代はスノーボードを楽しんでいた友人はスキーに目覚めたようである。釣られてスキーをレンタルした私は、思うように体は動かず、スピードは抑えられず、よく怪我をしなかつたものである。少し休憩をしようと入った建物で、小さな子供が自販機で飲み物を買おうと赤く光るボタンを押している。私はそっと近づいて言ってあげた、「Sold out」。読めないよね、「売切」では。

次号執筆依頼 江本精二(工院平26修)

ペルシャからの風

写真映像作家 松井みさき(経平7卒)



3月の香港国際映画祭で、加藤雅也さん主演の「二階堂家物語」(監督:アイダ・パナハンデさん)が上映され、その凱旋上映イベントが、私が監督したメイキング「ペルシャからの風」と併せて、同月にアップリンク渋谷にて行われた。この2作品は昨年のなら国際映画祭(エグゼクティブディレクター:河瀬直美さん)で上映されている。「二階堂家物語」の監督はiran人なので、制作現場ではペルシャ語、英語、日本語が飛び交い、お互いがいかに理解し受け入れようとしたかについて、私が1ヶ月間カメラで追い、監督、俳優だけでなく、制作スタッフや地元エキストラの方々にもインタビューを行った。本編とメイキングの二本立ては珍しく、1日だけの特別上映で、加藤雅也さんと私のスペシャルトークも行われた。奈良出身の加藤さんと神戸出身の私はともに関西人。通常Q&Aでは、日本人はシャイであまり手が上がることはないのですが、今回は活発でうれしかった。

公認会計士 藤野正純事務所

公認会計士 藤野 正純

(昭和51年商学部卒)

〒540-0033 大阪市中央区石町1丁目2番1-310号
TEL 06-6920-5317
fujino@mbox.kyoto-inet.or.jp



リレーマガジンから勉強会まで—東京有恒会の活動—

幹事 今駒哲子(理昭58卒)

東京有恒会は、2010年に有恒会東京支部でありながら全学組織として独立改名し、2018年、大阪市立大学同窓会東京支部「東京有恒会」となりました。

比較的若い世代の参加が多いのが特徴で、活動としては同窓生が寄稿するメールマガジン「リレーマガジン」で幅広い世代の同窓生の近況を共有できたり、ITミニ勉強会で少人数でパソコンを使いこなして、便利なクラウドサービスを活用する方法を身につけることができます。ミニスピーチで生でリレーマガジンを体感できるアンカンファレンスも開催しています

幹事会は、神戸大学の同窓施設である東京六甲クラブを賛助会員として利用。六甲クラブでは毎回ロビーなど施設を利用しており、ここ2年は総会でも利用していました。

なお、ことしの総会は2019年10月5日(土)新会場、NATU-LUCK(ナチュラック)飯田橋東口 駅前店 4階大会議室です。どうぞご参加ください。

詳しい案内、参加フォームはこちら

<https://tokyoyukokai.weebly.com>

代表は、深尾愛二郎 昭和44年(1969年) 経済学部卒。幹事は以下6名。

- ・中尾隆史/昭和49年(1974年)/工学部機械科卒
 - ・前田寿雄/昭和49年(1974年)/商学部卒(落語研究会・少林寺拳法部)杉本クラブ事務局
 - ・今駒哲子/昭和58年(1983年)/理学部数学科卒(能楽研究会)
 - ・山本 登志子/昭和61年(1986年)/生活科学部 被服学科卒
 - ・北野好浩/平成2年(1990年)/文学部卒(写真部)
 - ・森 大鬼/平成7年(1995年)/理学部卒(古都散策有史会、茶道部利休会)
- 監査は有馬映也/昭和40年(1965年)/商学部卒の体制です。

(1)見学会

10月15日、台東区にある小川 雅弘さん(平成16年商学部卒)のクラフトビールカンパニー工場見学会開催。



左から:中尾・森・北野・深尾・山本・前田・今駒

幅広い世代で参加していただきたく、会員の役に立つ見学会や勉強会などイベントの企画、見学会や会社訪問などを企画しています。

(2)ITミニ勉強会

ITミニ勉強会は、メールやウェブ、パソコンの調整など毎回参加者の要望に応じたテーマで開催中。今までずっとパソコンの調子がわるく非効率だったのが、すぐに立ち上がり、不要だったウイルス対策ソフトをすべて削除して動作が軽くなった。パワーポイントにネットの情報を張り付けるのに、エクセルだけでなくテキストエディタ秀丸のマクロを活用して効率的に編集する方法、Googleフォトで画像の一括管理。スマートフォンとGoogleフォトと同期させて自動保存、Googleのメールでメール一括管理などなど、今まで知らなかった便利な利用方法がわかって大変助かった、といった声もいただいています。

(3)リレーマガジン

卒業生によるリレーマガジンは、20回を超みました。自身の活躍の情報だけでなく、オリンピック選手など、ご子息の活躍にも目を見張るものがあります。今は、毎月1回ペースで続ける予定です。

一部抜粋して紹介します。

NO.17 バレーボール・ライフ

お嬢さんは新体操 リオ五輪 日本代表団体メンバーで活躍中

NO.13 スターウォーズ模型の世界

夢は「スター・ウォーズ」映画の製作。渋谷でIT会社起業。

NO.9 東京中心に飲食店15店舗展開、浅草橋にビール工場

ビール工場見学実施しました。

NO.1 基材交換不要のバイオ式生ごみ処理機との出会い

ひとり、大阪からこどもを連れて東京へ。仕事はITだけではなく環境製品の生ごみ処理機を扱う。海外は南米チリを頻繁に訪問。チリの先住民やスペインの進出により絶滅したパタゴン族にはまったく日本人そのものの顔立ちのひとたちも。遺伝子レベルでのつながりを感じます。長女は女優として活躍中。



支部だより

とき：平成30年11月11日(日)

ところ：静岡県男女共同参画センター あざれあ

11月11日、来賓として前阪弘文・大学サポーター交流室長(法H2)、黒山泰弘全学同窓会副会長・工学部同窓会長(工S50)、小林俊介・有恒会常任副会長(法S44)のご参加を頂き、冒頭、前阪氏から祝辞と大阪市大と府立大学との統合計画の報告を受け、15名の静岡県在住会員の参加を得て、



2017年11月以来の活動及び会計・同監査報告を了承し、新役員の確認を行ない、ついで2018年度の活動と会計予算の報告についても了承を得た後、会員からの提案によるジビエ料理に舌鼓を打ちながら懇親会を和やかに行い、会員の自己紹介と交流を行なった後、大場正春会員(理S51)の記念講演「GETシステム：微生物の力で地球温暖化に立ち向かう」によって、稻わらから新たなエネルギーを獲得する技術開発の意義と、特に容易に事業化でき、低コストによる効果など興味深い内容を提供され、参会者に大きな感銘を与えられた。支部は今後とも、会員の興味に沿った集まりや、講演を行なって、組織の強化に努めてゆく予定です。

山本義彦(経昭42／院昭48卒)

第10回 北陸支部総会報告

とき：平成30年11月10日(土)

ところ：金沢東急ホテル

平成20年暮れに商友会の下崎千代子先生から「北陸に同窓会組織を作ってほしい」と頼まれたのがきっかけで粟島憲治さん(商昭52)、堀江寿郎さん(商昭52)と誉田 豊(商昭

44)の3人が「北陸有恒会」を設立することを決め、その後3人で有恒会会員名簿を頼りに名簿の作成作業を経て設立総会(第1回)を行いました。その後、金沢、福井で開催し、今回初めて富山で行いました。



そして今回の金沢での記念すべき第10回総会には荒川学長、岡本有恒会会長、牧野全学同窓会副会長、講師に濱崎医学部教授にお越しいただきました。各地域での市大のプレゼンスを高めるために外に向けて色々なことを発信していくことは重要ですので、総会で顔を合わせ、話をし、会員の皆様方にどのような「外に売れるスキル」が備わっているかを把握しておくことは重要なことと考えています。また「強い同窓会」のために小同窓会をイッパイ作ることが有効な手段と考え北陸支部から福井、石川、能登、富山支部を分離独立させることを今回の総会で提案しました。

誉田 豊(商昭44卒)

富山支部設立総会

とき：平成31年1月19日(土)

ところ：高志会館(富山市内)

2009年8月の北陸支部設立以来その一角をなす富山において「地元密着・気軽参加」を目標に、このたび富山支部が新たに設立されました。

支部設立総会において、支部長に粟島憲治(商昭52)、幹事に斎藤賢治(商昭54)、米澤宏二(工院42)が決まりました。

東京圏に近い富山において大阪市大のプレゼンスを高めるために支部会員が一丸となって頑張りたいと思います。富山に転勤などで来られた方が居られればご連絡ください。

誉田 豊(商昭44卒)



福井支部設立総会開催

とき：平成31年1月12日(土)

ところ：竹取御殿(福井市内)

2009年8月の北陸支部設立以来その最大の会員を擁する福井において「地元密着・気軽参加」を目標に、このたび福井支部が独立しました。

設立総会において、支部長は大中正光(医昭43)、幹事は松本正博(商平4)に決まりました。

関西圏に近い福井における大阪市大の評価は高く、更にプレゼンスを高めるべく支部会員が一丸となって頑張りたいと思います。福井に転勤などで来られた方が居られればご連絡ください。

誉田 豊(商昭44卒)



愛知支部 平成30年度総会

とき：平成30年11月14日(水)

ところ：名古屋、名鉄ニューグランドホテル

75名参加者のもと、愛知支部総会が開催されました。



荒川学長、児玉全学同窓会会长、塚本京滋支部長などご来賓7名の方にもお越し頂きました。大垣市議田中様の司会で、大学統合の状況を交えた荒川様のご挨拶や児玉様の乾杯ご発声で開宴。その後、各人各様で近況報告や再会による旧交を温めたり、異業種間の交流などで、和気あいあいとした歓談により大変盛り上がりました。また、荒川様レシピのカレーをはじめ、有志が多数持ち込んだ、婦人服や高級酒、家電用品、ゴルフ用品、お菓子など嬉しい抽選会もありました。

今年も老若男女のワイドレンジな会となり、平成卒の方が38名、女子の方11名ご参加賜り、様々に

リアルなネットワークづくりができ、また結び付きがより強まったものと思います。

今後も一層魅力ある会に向け尽力をしてまいりたく、引き続きよろしくご支援お願いいたします。 滋野公彦(経昭51卒)

有恒会大阪北支部 第563回例会

とき：平成30年11月22日(木)

ところ：文化交流センター(大阪駅前第2ビル6F)

講演は、「健康寿命延伸の為の栄養・食生活・身体活動」

講師は、大阪市立大学大学院 生活科学研究科

医学博士・栄養学博士 由田 克士教授

今回は、初めて生活科学(旧家政学部)の講義。大阪市立大学大学院生活科学研究科医学博士・栄養学博士 由田克士教授から「健康寿命延伸の為の栄養・食生活・身体活動」の話をしていただいた。その前に由田教授から元ヤンキースの松井選手、元森首相と同郷であるとの紹介があった。

全国市区町村別の平均寿命が上位10位、下位10位の厚労省の資料の説明。平均寿命と健康寿命の差。栄養と栄養素の違い。食事は、主食・主菜・副菜のバランスと適正な量が大事。日本が戦後最低だった平均寿命が1970~80年代に世界一になった事。その理由は①国民皆健康保険システム②衛生を好む文化③高い教育水準④平等主義的な社会⑤食生活や身体活動での好ましい伝統があった事である。また、日本人の食生活の変化、死因別にみた死亡率の推移、地域別の食塩摂取量推移、飲酒量と循環器疾患との関係等々、詳しく説明頂きました。

後半は、シニア世代が元気に過ごす為のポイントの説明で、食事と適度な運動と、体重、血圧他健康管理の大切さを短時間で、わかりやすく説明を頂きました。 白崎孝志(商昭45卒)

北摂支部 総会

とき：平成30年11月11日(日)

ところ：千里阪急ホテル(豊中市)

まず初めに鶴原支部長の逝去に伴う池上支部長代行(医昭40)の挨拶、物故会員への黙祷に続き、来賓の児玉同窓会長より、同窓会HP充実、30支部との連携強化、五代友厚関係事業についてお話をいただきました。続いて中尾副支部長(商昭42)からこの一年間の活動状況の報告があり、総会・懇親会以外に見学会など懇親を深める行事も行っており、より多く参加願いたい等の発言がありました。



続いて荒川理事長兼学長から「母校が輝きを増すために」と題して講演いただきました。学生・大学教職員など市大の若サムライたちの活動をもとに、健康寿命を延ばす取り組みについて説明があり、次に府大との統合問題について、進捗状況と論点になっている事柄について説明がありました。また、本日の参加者に抽選で学生カレーと著書を進呈頂きました。

懇親会は市大交響楽団カルテットによるモーツアルト弦楽四重奏曲第14番「春」の演奏から始まり、和やかな歓談で盛り上がる中、気が付けば予定の時間が経過、学生歌、桜花爛漫を齊唱し、会合を終えました。 杉谷公伸(経昭44卒)



た方々も多かったのでは。

今回、大学から荒川学長ご自身仕込みのビーフシチュー(レトルト)と学長著の「あなたの主治医が名医に変わる本」を景品として頂いた。思わぬ贈り物に当たった人は大喜び。

会員の近況報告の場では極々初期の肺臓がんを優秀な医者が見つけて摘出手術を受け、いまは完全回復した。その病院は大阪市大病院であるとの話が披露された。誇らしい限りである。



神戸支部若手の会(仮称)開催

とき：平成30年11月30日(金)

ところ：スターボード(神戸・三宮)

11月30日金曜日 午後8時から神戸支部若手の会(仮称)忘年会を開催しました。

9月1日に開催した定期総会において若手の集まりを設けたと皆さんに申し上げましたが、元支部事務局長の藤田隆大さん(商平10)が音頭取りを務め、20名が集うところとなり、支部からは支部長の私(法昭55)と竹本昌弘事務局長(法昭53)、さらに桐山孝信副学長(法昭56)が加わり、懇親を深める賑やかな会となりました。今後も継続的に、その輪を広げながら、開催をしていきたいと考えています。

なお、当日参加者の平成世代年代別内訳は下記のとおり

平成9年卒：2名、10年卒：2名、11年卒：7名、12年卒：3名、13年卒：19年卒・21年卒：各1名、23年卒：2名、28年卒：1名、支部長・事務局長・副学長

計 23名

梅村晋一(法昭55卒)



宝塚支部総会開催

とき：平成30年12月1日(土)

ところ：宝塚温泉 ホテル若水

晩秋のやわらかな陽を川面に映す武庫川を前にして、多忙な中、櫻木副学長をはじめ5人の方々を来賓として出席していただき、宝塚支部の総会を開催した。

今年の例会は例年になく華やかで賑やかとなった。会員の参加人数は28名で、去年より7名多く、新規加入者は6名であった。更に嬉しいことに今回は平成23年卒の若い方が入会された。

司会は新卒招待者の池田千恵子さん(創博平30)にお願いした。落ち着いて穏やかな話振りは適任であった。市大交響楽団の現役学生による弦楽四重奏の演奏は今までにない趣向で若い学生のひたむきな姿に自分の若かりし頃を思い出され

次回は宝塚在住の元宝塚ジェンヌに出演してもらう予定。おおいに楽しみにしてください。 原木文吉(商昭43卒)

神戸支部・姫路しらさぎ支部 合同「龍力」利き酒会

とき：平成31年3月9日(土)

ところ：酒蔵㈱本田商店(姫路)

去る3月9日(土)、15時から約2時間に亘り、代表銘柄「龍力」で知られる姫路市網干区の酒蔵㈱本田商店において、神戸支部と姫路しらさぎ支部との合同で、利き酒会を開催した。

参加者は神戸支部から6名、姫路しらさぎ支部から5名のほか、大学のホームページにより開催を知り参加された夫婦2名(いずれもOB)と姫路しらさぎ支部会員の勧めで参加されたOB1名と他のグループとの合同で開催された。

初めての参加者が非常に多く、本田商店のベテラン職人による説明と試飲に大いに満足をされた。

特に、姫路しらさぎ支部においては、前述のご夫婦などOB3名はいずれも姫路市内在住者であり、当支部への入会を依頼・勧誘した結果、次回の総会案内を送らせてもらうことには快諾を得るに至った。

さらに、利き酒会が進む中、当日大学の支部代表者会議に出席中の支部長より当支部が優秀賞を受賞した旨のメールが入り、試飲中の姫路しらさぎ支部会員の間では、歓喜の渦に包まれる状況となつた。 吉備文昭(商昭51卒)



奈良支部第26回見学会開催

とき：平成30年11月18日(日)

ところ：興福寺と平城宮跡歴史公園

奈良支部の第26回見学会が平成30年11月18日開催され、同窓生約40人が参加。同年10月に落慶法要が行われた興福寺の中金堂や同年春完成した平城宮跡歴史公園などを訪れ、秋晴れの下、いにしえの古都・奈良を満喫しました。

興福寺では南俊慶師が中金堂、国宝館、東金堂を案内。藤原不比等が最初の堂宇として平城遷都(710年)と同時に創建した中金堂は6度の焼失・再建を繰り返し今回、創建当時の様式で復元されたもので、その莊厳なたたずまいに感嘆の声。



国宝館では本尊千手觀音菩薩像や乾漆八部衆の阿修羅像など、国宝東金堂では聖武天皇が叔母の元正太上天皇の病気全快を願って造られた本尊、薬師如来坐像などを見学しました。

月日亭近鉄奈良駅前店での昼食の後、平城宮跡歴史公園へ。特定非営利活動法人平城宮跡サポートネットワーク(鈴木浩理事長)の案内で、遣唐使船、天平みはらし館、平城宮いざない館を訪れ、困難を乗り越えていかに中国の文化を吸収しようとしたかや、出土した膨大な木簡から読み解けた平城京での役人の生活などについて学びました。

藤山純一(法昭51卒)

徳島支部総会開催

とき：平成30年12月19日(水)

ところ：三楽(徳島市内)

今年は全学同窓会会长 児玉隆夫様、大学サポーター交流室 前川弘文様にお越しいただき、恒例の徳島有恒会の総会



を開催いたしました。年末ご多忙のところ、まことにありがとうございました。

総会は當徳島有恒会の大平会長のあいさつで始まり、来賓の皆様より市大や同窓会の近況や課題についてお話をいただきました。また、WBO APフライ級チャンピオン坂本選手の紹介などもいただき、楽しいひとときを過ごすことができました。

これからも会員が積極的に参加する魅力ある会にしていきたいと考えていますので、引き続きご指導、ご助力をお願い申し上げます。

沢田久志(商平6卒)

湘南支部設立準備会開催

とき：平成31年2月9日(土)

ところ：湘南クリスタルホテル

神奈川県中央部に新しく湘南支部が立ち上がることになりました。このエリアには、母校卒業生で著名な開高健記念館(茅ヶ崎)があります。

湘南支部設立準備会には遠く小田原から参加頂いた南医師を始め14名が参加。この中にはロケット関連が2名、開高健家族との交流があったOBも参加。

設立準備会では、支部設立趣意書、設立総会日程等が審議され、支部長植嶋(商昭51)、幹事田郵(工院昭59)、監事田中(法昭43)会計北野(文平2)という役員案がまとまり、湘南支部設立総会(6月22日12時、湘南クリスタルホテル)にて承認される運びです。

身边に会員相互の親睦をより図る事となり、新たな繋がりも見つかる成果もあった。植木さん(理院昭44)は上海大学との芸術交流展(3/28-4/2)に参加。会場にて、学生諸君8名の上海渡航費用のため寄付を募ったところ有志よりご寄付を頂戴しました。紙面を借りてお礼申し上げます。

湘南支部へ暖かなる皆様方のご支援賜りますよう切にお願い申し上げる次第です。

若尾壽幸(法昭58卒)





熊本支部設立準備会開催

とき：平成30年11月24日(土)

ところ：熊本ホテルキャッスル 九曜杏

九州地区で、5番目(福岡、大分、宮崎、長崎、熊本)となる熊本支部が立ち上がることになりました。熊本支部設立準備会には、これまで九州での支部ネットワーク拡大にご尽力いただいた荒岡元福岡支部長にも参加いただいた。

準備会では、世話役体制、支部設立総会日程等について協議のあと、参加者からの自己紹介があった。熊本支部設立総会は、下記のとおり決定した。



●日時：令和元年5月11日(土)12:00～ ●場所：割烹 火の国(熊本市役所前) ●審議内容：支部設立趣意書・支部規約・支部役員等。

●世話人：汐見勝彦(工昭36)、舞田邦彦(法昭41)、鳥飼香代子(生昭46)、永田智(医平8)、高濱和博(営博平16)、安武慎介(商II平17)、野田敏貴(法平24)

長崎支部設立準備会開催

とき：平成30年11月23日(金)

ところ：ホテルニュー長崎 錦茶房

九州地区で、4番目(福岡、大分、宮崎、長崎)となる長崎支部が立ち上がることになりました。長崎支部設立準備会には、これまで九州での支部ネットワーク拡大にご尽力いただいた荒岡元福岡支部長にも参加いただいた。



準備会では、世話役体制、支部設立総会日程等について協議のあと、参加者からの自己紹介があった。長崎支部設立総会の内容と世話人は下記のとおり決定した。

●日時：平成31年4月27日(土)12:00～ ●場所：ホテルニュー長崎 錦茶房 ●審議内容：支部設立趣意書・支部規約・支部役員等。

●世話人：大野弘之(生昭50)、飯田清親(法昭51)、古河幹夫(経昭52)、古河美子(生昭52)、夢田慶子(生昭54)、馬越啓介(理博昭53)

石川支部設立総会

とき：平成31年4月6日(土)

ところ：招龍亭

4月6日桜が満開で咲き誇る中、金沢市内の中華料理「招龍亭」にて石川支部設立総会が開催されました。石川支部の発足母体である北陸支部は誉田支部長のご尽力のもと、昨年は第10回と開催を重ねてきましたが、それまでの福井、石川、富山部会を支部として独立させ、独自の活動を強化することとなりました。



有恒会からは小林俊介副会長をお迎えし、全国の各支部の活動状況や、大阪市大と府大の統合進捗状況などについてご紹介頂きました。誉田豊北陸支部長からは、設立準備段階では堀江寿郎氏と粟島憲治氏のわずか3名の熱意から始まったことや、坂根正弘氏、倉持治夫氏、尾山基氏、藤沢久美氏等をお招きしてご講演頂いたことなどを振り返られました。

参加会員からは近況報告があり、またジャカルタに赴任される児玉治氏、初参加の南俊輔氏からもご挨拶を頂いて、最後は堀江北陸統括支部長が三本締めで締めくくり、和気あいあいと賑やかな中で散会となりました。伊藤光明(経昭49卒)

美術印刷・企画デザイン・フォト

NP

ご提案・創造 それが私共の商品です。
Presentation & Creation

株式会社 日本プリンティング

代表取締役 大西基勝(商昭52卒)

〒537-0002

大阪市東成区深江南2丁目13番17号

TEL(06) 6981-5566 FAX(06) 6981-5083

<http://www.nihonprinting.co.jp>

大阪市立大学同窓会・有恒会 支部連絡先一覧（国内、海外）

2019年5月現在

国内・支部名	支部長・会長 幹事代表・事務局等	学部卒年	メールアドレス
北海道支部	支部長 石黒 直文 矢橋潤一郎	経昭29 経平6	
東北支部	支部長 石橋 信勝 早川 公康	法昭44 生院平10	
東京支部	支部長 深尾愛二郎	経昭44	
静岡支部	支部長 山本 義彦	経博昭48	
北陸支部	支部長 誉田 豊 堀江 寿郎	商昭44 商昭52	
富山支部	支部長 粟島 憲治	商昭52	
石川支部	支部長 伊藤 光明	経昭49	
福井支部	支部長 大中 正光	医昭43	
愛知支部	支部長 滋野 公彦 奥田 篤志	経昭59 経平1	
三重支部	支部長 岡本 直之 北村 純一	商昭45 経昭46	
有恒会 京滋支部	支部長 塚本喜左衛門 藤野 正純	経昭46 商昭51	
有恒会 大阪北支部	支部長 小林 俊介 甘田 外成	法昭44 経昭40	
大阪南支部	支部長 金村 福寿 崎山 光友	商昭56 商昭50	
北摂支部	支部長 池上 隆彦 多田 省吾	医昭40 法昭45	
南大阪支部	支部長 頼花 修二 古下 政義	商昭54 法平3	
神戸支部	支部長 梅村 晋一 竹本 昌弘	法昭55 法昭53	
宝塚支部	支部長 原木 文吉	商昭43	
姫路しらさぎ支部	支部長 松浦 康裕 吉備 文昭	経昭50 商昭51	
奈良支部	支部長 高橋 敏朗 一柳 茂	営修昭43 商昭49	
有恒会 和歌山支部	支部長 小佐田昌計 山田幸太郎	法昭43 商平3	
有恒会 岡山支部	支部長 小野健太郎	商平5	
有恒会 広島支部	支部長 井上 道 河合 直人	法平3 法平11	
有恒会 福山支部	支部長 塚本 義政 塚本 光人	法昭53 法昭51	
山口支部	支部長 吉田 慈孝	理修平11	
山陰支部	支部長 梅林 広志	商昭49	
香川支部	支部長 高木 孝征	商昭51	
徳島有恒会	支部長 大平 恒己 沢田 久志	経昭41 商平6	
愛媛支部	支部長 曲田 清維 浮田 泰昌	生院昭52 経昭54	
福岡支部	支部長 藤本美佐子 棟居 秀信	生昭47 商昭52	
大分支部	支部長 日名子晃三郎 中野 洋介	経昭38 商平4	
長崎支部	支部長 古河 幹夫	経昭52	
熊本支部	支部長 鳥飼香代子	生昭46	
宮崎支部	支部長 橋口 律男 児玉 憲生	法昭49 商昭52	
鹿児島支部	会長 平田 宗興 支部長 中村 俊久	医昭46 商昭47	
沖縄支部	支部長 天願 勇 目加田博史	医昭47 商昭53	

海外・支部名	代表者	卒部卒年	メールアドレス	海外・支部名	代表者	卒部卒年	メールアドレス
上海支部(上海友好会)	吉田 耕平	商昭63		シンガポール	森田 宏	商昭45	
台湾支部	田村 圭介	商昭61		ニューヨーク支部	天尾 嘉宏	経昭61	
香港	森實 章	法昭55		シドニー支部	祝部 丈夫	商昭39	
バンコク支部	田宮久弥雄	経平13		ホーチミン支部	猪谷 太榮	法平11	
ジャカルタ支部	同窓会事務局			クアラルンプル	上野 展弘	工平15	

会員のひろば



クラブOB会

南瀬会合唱団第21回定期演奏会

とき：平成30年11月23日

ところ：豊中市立文化芸術センター
アクア文化ホール

隔年開催の演奏会、今年は大阪環状線を抜け出し、阪急曾根駅東にあるアクア文化ホール（定員490人）で開催しました。市大同窓会北摂支部、宝塚支部はじめ同窓生の観客も多く来場いただき、400名を越える入場

者で、にぎやかな演奏会になりました。正統派の男声合唱組曲、黒人靈歌、「となりのトトロ」も入ったジブリ名曲集、それに客席の皆さんと一緒に「赤とんぼ」などを歌う四つのステージで、2時間がまたたく間に過ぎてしまいました。

和音を楽しみながら、大きな声で歌うことは、楽しく健康を保つこともあります。南瀬会合唱団は、大阪市立大学グリークラブOBを中心になって活動する男声合唱団ですが、趣旨に賛同して歌う皆様方を大歓迎します。どうぞ下記あてお問い合わせください。

連絡先：

yogita@ado.osaka-cu.ac.jp

次回出演の演奏会：五つの男声合唱の集い(ANCORの会)2019年5月6日兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール

扇田 豊(法昭50卒)



関東己求会の絆

とき：平成30年11月17日

ところ：東京駅地下「日本海庄や」

己求会とは、弓道部OB会の名称です。戦後の弓道部発足の頃の仲間で東京近辺にいる者の集まりを「関東己求会」と称し、毎年2回、懇親の集いを重ねています。大阪から仲間が参加してくれたこともあり、やはりクラブ活動という絆はいつまでも深いものです。

絆の元々の要は、弓道部発足当時の素晴らしい師範、文学部教授の橋本元二郎先生です。昭和30年、橋本先生の肝いりで弓道部が発足しました。先生は当時弓道六段・教士。元々は大阪高商時代に弓道部で鳴らした名選手でしたが、そこから想像する厳めしさは全くないおもろい紳士でした。

米軍の接收跡の小屋に巻き藁を置き、グランドの片隅に土を盛り上げただけの野っ原道場です。橋本先生は硬軟自在に我々を野武士に仕立て上げ、弓道部発足翌年(昭和31年)に、関西学生弓道連盟の二部リーグで全勝優勝、一部昇格に導き

ました。それが我々の絆を固くしたのです。集いで談たまたまその頃に及ぶと、長老先輩は興奮してボルテージが上がり、周りはちょっと辟易するのです。絆も時にはしんどい…。

高橋 宏(経昭34卒)



橋本先生

大阪市立大学 古美術研究会同窓会 「再会、再見の会」の開催

とき：平成30年11月17日、18日

ところ：中華料理店「中山閣」（和泉市）、法隆寺他

2013年、森義明さん達が実施された古美研同窓会の集まりを契機に、今回の会合になりました。

会場の中山正子さん経営の中華料理店「中山閣」の2階で、おいしい料理を食しながら、各自の自己紹介と経歴報



告をしました。この経歴報告がなかなか圧巻で、特に女性たちの就職先を開拓しながらのがんばりの人生行路は、ほんとに注目させられました。

この人生行路に、私は、二つのことを感じました。

一つは、大学入学にあたりユニークとも言える家政学部の選択は、女子学生にとって、かなりよく考えた進学先で、気の入ったものであったということです。大学まで行って、何をもって社会で活動するか、という時、私は彼女達の先

を見据えた動きを当時、考えた記憶がありませんので、新鮮な経歴報告でした。

そして、もう一つは、本来の勉強学部（住居学科、植物学科、児童福祉科、または、商学、経済学、法学、工学、理学、医学など）があるにも関わらず、その分野とは全く離れた「古美術」「歴史」に関心を持って、クラブ活動に参加したということは、骨格的な部分を離れてまで、もっと別角度からの視点を暮らしに持っておきたいと言う挑戦的、改革的な行動パターンを持っていたと思われ、それが、社会に出ても、様々なことに飽くこと無く挑戦して活路を見出すにつながっていたような気がしました。

この会の成果を一番感じて考えさせられたのは、わたし自身であったかも知れません。

翌日11月18日は、上述通り4人で、法隆寺、中宮寺を観覧しました。松村さんから若草伽藍塔心礎の売買事件を聞かされ、何とそんなことが、驚きましたが、今はちゃんと元に戻っているとか、面白い事件を聞きました。松村さんから観覧を進められた藤ノ木古墳と、斑鳩文化財センターに行きましたが、こんな発掘物が近年あったのに驚かされました。良い機会を持てました。その後、法輪寺、法起寺、中宮寺跡史跡を徒步でまわりましたので、この日はかなりな徒步距離になりました。奈良宿泊でこの日は終わりました。

今後も長そうな人生で、かつて一緒に動いた人達から、刺激を受けて、元気を貰う機会だと思います。

小林正典（法昭43卒）

第3回将棋部OB・現役部員交流会開催

とき：平成31年3月23日（土）

ところ：将棋部部室、天王寺アポロビル6F（桜の門）

平成31年3月23日（土）、第3回将棋部OB・現役交流会が開催された。第1部は将棋部部室にて、S45年～S54年卒業OBと現役及び若手OBの対抗戦という形で対局を実施した。最大50才親子以上の年齢差があっても、対等に勝負できるのが将棋というゲームの魅力の一つです。OB・現役共ベストを尽くし緊張感ある熱戦を繰り広げました。年1回のこの催しを楽しみにし、仙台・東京・広島等の遠方から参加してくれている方もいます。現役部員からは「よい刺激を受け、楽しめました」との感想が聞けました。現在将棋は、藤井聰太7段の活躍・コンピュータ対プロ高段者の対戦・羽生永世7冠への国民栄誉賞授与・「3月のライオン」の上映等により、ブームが起こっているのはうれしい現象です。現在、大阪市立将棋部は関西一軍戦B級2位の好位置でA級昇格を狙っています。現役の方には、団体戦・個人戦共今後益々活躍していただけることを祈念しております。

第2部は、桜の門（天王寺アポロビル6F）にて懇親会を開催しました。浅田OB会長の挨拶・仲村現役将棋部幹事による乾杯の音頭・各自の近況報告等を行い2時間があつという間に過ぎました。最後は松本裕彦様による一本締めを行い、来年の再会を約し、解散となった。

松浦康裕（経昭50卒）



平成31年度陸上部OB会(陸友会)開催

とき：平成31年3月31日(日)

ところ：大阪新阪急ホテル2階

恒例の陸友会総会・懇親会が、3月31日に開催されました。総会では、平成30年度の活動・会計報告、31年度の予算・活動計画が説明され、各議案が原案どおり承認されました。

本年は役員改選の年に当たりますが、陸上部創部100周年が来年に迫るタイミングであるため、役員構成をほぼ従来通りとしました。例年の現役支援に加えて100周年記念誌作成プロジェクトが進行中であり、人手・資金とも厳しい状況です。広く援助を呼びかける旨、総会の場で説明が行われました。

総会終了後、現役の陸上部員(幹部の新3回生)を交えた懇親会が始まります。

亀井会長の開宴挨拶、關名誉会長の音頭による乾杯の後、OBと現役部員の和やかな懇談となりました。遠来会員

をはじめとする近況報告、吉武主将ほか現役部員の力強い決意表明も。そして最後は、出席者全員が輪になり逍遙歌を高らかに歌いました。



今年度は、5月の関西インカレ(西京極・鴻ノ池)や、7月13日(土)の旧三商大戦(一橋大)などが催されます。高い目標を掲げ臨みますので、ぜひ足をお運びいただき応援のほどお願いします。

二宮 一(法平1卒)

同期会

昭和30年法学部卒同期会(通称サンマル法会)

とき：平成30年11月6日(火)

ところ：大阪市梅田・阪急百貨店13F つる家

ここ3年続きで、毎年同じ場所で開いてきました。今回は36人に案内状を出したところ、写真の通り8人の参加となりました。出席者の最年長齢は藤野季雄氏(90歳)。

次回も1年先の11月、阪口春男氏のお世話で同場所で開催の予定。どうかひとりでも多くの同期生が顔を見せてほしいと願っています。

田中善平(法昭30卒)

大阪市大 第1期生同期会(昭和28年卒 大阪地区)

とき：平成30年10月22日

ところ：新阪急ホテル 白楽天

今年の同窓会は案内状に今回をもって終会したい旨記されていた為か、東京から参加の2名を含め、昨年より多い18名で開催されました。

私達同窓の諸兄は、殆どが米寿を迎える年齢になり、体力、気力共に衰えを感じる様になり、今後については今回をもって終了することとし、随時、少人数でも声をかけあって、自由に会うことを了解ということにしました。



戦後の混乱期に在学し、杉本町の校舎には一度も登校することもなく、大阪市内の旧小学校を転々と移動して授業をうけ、アルバイトに精を出し、よくも卒業できたことを思いおこしております。今後の目標は一応東京オリンピック及び大阪万博まで頑張るとし、区切りをしたいと思っております。

岡田圭二(商昭28卒)

翔道会(昭和26年商学部入学者の会)最終回

とき：平成30年10月17日(水)

ところ：京懐石 美濃吉 心斎橋店

【立つ鳥跡を濁さず】

第30回のそして最後の総会を開催。

昭和30年卒、平成30年度、加えて30回目の切りの良さで、今回で終了として今日を迎えました。

疎開・空襲・そして空腹。今の時代忘れられた言葉で語られる世代の我々です。8月15日・共学・民主主義・なにより本当に100%自主の気風あふれた大阪市大に我々は学んできました。

一方未曾有の就職難。翔道会が昭和30年商学部卒としないで26年入学者としているのは就職難であえて留年された仲間がそこそこおられたからなのです。

さらに買い出し・闇市と言われても4~5年以上後輩にあたる方は多くがキヨトンとされ、リンゴの唄ときてやっと、あーあの世代かとわかつていただけた。

総会も最近は20名越えれば御の字。米寿を目前にしてそれならまだ継続可、残り数名まで続け空中分解すれば、といふお考えのあるのも事実。

しかし、一掬の余力を残して潔く『立つ鳥跡を濁さず』もまた美学と考えてみました。今後は同好の士なりが個人的に集い、親交を重ねていくこととします。

黒瀬秀雄(商昭30卒)



「法友40会」(法学部昭和40年入学者中心同期会)開催報告

とき：平成30年12月13日(木)

ところ：がんこ 曽根崎本店

「法友40会」は法学部昭和40年入学者・44年卒業者の有志の集いで、かれこれ約20年続いている。全員古希も過ぎたせいか、最近は自身の体調不良、伴侶の入院等で参加者が減ってきてているのが実情。



そんな中で未参加の同期生に声をかけた結果、今年は3名の初参加者(喜多幡一郎、杉本直樹、金谷千慧子)があり、合計13名が出席。

恒例の近況報告(常連は約3分間、初参加は在学中から現在までの長めのスピーチ)交換があり、質問やヤジが飛び交うなど大いに盛り上がり、あっと言う間に時間は過ぎ、お開きとなった。

また来年、元気な姿での再会を約してそれぞれ家路に着いた。

◆次回開催日時：令和元年11／29(金)17時～(初参加大歓迎)

植田浩吉(法昭44卒)



山口法律会計事務所

所長 弁護士 山 口 健 一
(法学部 昭和 49 年卒)

事務所 〒530-0047

大阪市北区西天満 1 丁目 7 番 20 号
JIN・ORIX ビル 6 階

TEL. 06-6361-3234 FAX.06-6361-0096

E-mail office@yamaguchi-law.jp

URL : <http://www.yamaguchi-law.jp>

Coil the World

お客様の安全・安心・感動を、我が社の『信頼』と共に

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社

DCダイヤモンド電機株式会社

ZEBRA 田淵電機株式会社

〒532-0026

大阪市淀川区塙本 1 丁目 15 番 27 号

TEL : 06-6302-8141 FAX : 06-6302-8145

<https://www.diaeletc.co.jp/>

〒532-0003

大阪市淀川区宮原 3 丁目 4 番 30 号

ニッセイ新大阪ビル

TEL : 06-4807-3500 FAX : 06-4807-3502

<http://www.zbr.co.jp/>

第2回 昭和44年商学部入学 同期会(商学部 昭和44年入学者)

会員のひろば



とき：平成30年9月29日(土)

ところ：木曾路 心斎橋店(ダイヤモンドビルB1)

今年の第二回同期会は台風24号が迫りくる中予定通り開催されました。台風の影響で直前に2名の欠席者はあつたものの、昨年と同数の31名(内、関東地区7名、愛知県4名、長野県1名、三重県1名)の参加者がありました。

宴も酣になった頃に司会の田中君から今回は出席できなかった3名から事前に預かっていた近況報告がありました。宴の後半は高橋君の司会で各人持ち時間1分以内で近況報告をすることになったのですが、皆喋りたがり屋さんばかりで、今回初参加者の中には初めから時間無制限を堂々と宣言し5分以上も喋りまくった猛者もいました。会場の参加者は皆半世紀前の学生時代の昔に戻り、学生時代の思い出、社会人になってからの苦労話などをワイワイガヤガヤ語り合っている内にあつという間に楽しい時間は過ぎていきました。そして終盤に高橋君が作成してくれ

た桜花爛漫の垂れ幕の前で円陣を組み肩を組んで逍遙歌を大合唱しました。最後に有恒会元会長の倉持君から閉会の挨拶があり幹事への労いの言葉と関東地区にも同期メンバーが多数いるので近い将来(2020年頃)には東京での同期会の開催をとの提案がありました。

阿部勝志(商昭48卒)



看護専門学校43期生Aクラス同窓会

とき：平成31年1月5日(土)

ところ：あべのマルシェ ドウオモ

数年前から、よつば会に参加した同級生とお茶して帰るのが楽しみの一つでした。一昨年、Aクラスで集まろうと有志が声をあげ、ラインで呼びかけ始ました、年に一度の同窓会。毎年、担任の竹内先生がお忙しい中参加してください、今年は、Bクラス担任の前田先生も参加してくださいました。卒業して25年を迎えますが、先生方もみんなも変わらず元気で、スマホを離して見ている姿が、過ぎた年月を物語っていました。

今回は、専門学校があったマルシェのお店で開催されました。周辺の町並みはすっかり変わり、戸惑ったという声が多くたですが無事に集合し、帰りには学校の玄関前で集合写真を撮り、25年前にタイムスリップしたようでした。

それぞれ色々な道に進み、色々な役割を担い、働く環境は違いますが、年に一度、みんなと話をすることで、明日からまたがんばろうと前向きな気持ちにさせてくれる素敵なか会でした。

平田真由美(看平6卒)



第3回 八起会関西支部の集い

とき：平成31年2月11日(月・祝)

ところ：いち凜(グランフロント大阪 北館近く)

八起会は約20年前、昭和48年卒業生を中心に東京にてスタートしました。その後退職を機に関西に生活拠点を戻すメンバーも増え2年前に



関西支部が発足していました。今回八起会幹事吉嶋さんの帰阪に合わせて大阪の新玄関口グランフロント近隣で開催しました。残念ながらインフルエンザに罹り急遽欠席もあり5名の参加にとどまりましたが、吉嶋氏から東京での八起会メンバーの近況報告。日銀勤務の大野氏にはキャッシュレス時代を迎えて日銀の金融政策への影響、印刷局のリストラの有無など時宜を得た話題の提供がありました。いつもながら活発、愉快な会でした。今後も関西支部の集いを定期的に開催しますので関西在住の八起会メンバーのご参加をぜひともお待ちしています。

関西支部への連絡も吉嶋さんにお願いします。写真は店を出た際、偶然通りかかった訪日旅行中の女性グループに撮影をお願いしました。みんな、良い笑顔で写っています。

吉田 稔(商昭50卒)

看護学校32期生同窓会

とき：平成31年2月2日(土)

ところ：青いナポリインザパーク(天王寺公園エントランス)

ひょんなことからラインがつながり、32期生30数年ぶりの同窓会です。見た目は少々変わりましたが、会ったとたんに、すぐに昔の呼び名が飛び交いました。教室での出来事や、苦しく楽しかった実習でのあんなことこんなこと…真剣に悩んだ日、泣き崩れた日。今では知っている人がほとんどいなくなった恐ろしいくらい古い病院での新人Ns時代。まさに時空を超えてよみがえり、楽しい時間を過ごしました。

今も何らかの形で医療にたずさわっている人がほとんどで、中には二世も市大でNsという人も。また全く違う職業の人もいたりしてお互いの人生にエールを送りあいました。今度は先生にもぜひ参加して頂きたいと思います。

折部直江(看昭58卒)



生活科学部居住環境学科：2回生有志による自主作品展示会「芽流」



居住環境学科の2年生が、設計製図実習の課題作品の自主展示会「芽流」を開催するようになって、今年で14回を数えます。会場は、南堀江にあるアトリエユニオン。株式会社ユニオンさんのご好意で、会場をお借りしています。

展示されるのは、小規模集合住宅「都市に住む」と、「地域に開かれた保育園」の2つの課題作品で、どちらも、そこに住む人や使う人がどのような生活や活動を開拓するのかを想定し、それを保障する空間を計画することを大切にしながら設計しており、居住環境学科らしい作品展示会になっています。

なにより評価できるのは、この展示会が学生の自主的な活動として継続していることです。毎年、先輩からその方法などが後輩に引き継がれ、学生有志が企画からパンフレット作成、当日受付も皆で分担して担当します。毎年、作品展示のほかに、オリジナルワークショップも企画され、楽しい展示会になっています。

例年、2月末の金土曜日に毎年開催しています。ウェブで「芽流」と検索いただくと情報が掲載されていますので、ぜひお立ち寄りください。



小伊藤亜希子(生活科学研究科)

C43会忘年会開催

とき：平成30年12月4日(火)

ところ：がんこ 曽根崎本店

昭和43年商学部卒業の私たちは、今年5月に「卒業50周年記念懇親会」を37名の参加を得て盛大に催したばかりである。

今回の「忘年会」(岡君の幹事)はそれに続くものであり、卒業者141人→案内対象34人→参加者15人(例年並み)。ここ18年ほど続くこの「会合」は、毎年12月第1火曜日が定例日。

参加メンバーは高齢の割には若々しく、話す声にも張りがある。この分ならこの会合は80歳くらいまで続けられそうな予感。

何かお問い合わせ等ありましたら、お気軽に以下までご連絡ください。

代表:岡 実 携帯:090-2707-0298

最後に筆者/前島の拙歌を掲載させていただく。

・歳末の 商都に集う 吾が同期 友と歓談 なお意気高し

前島 浩(商昭43卒)



2018/12/04 17:18

法学部昭和42年入学者同窓会

とき：平成30年10月5日(金)

ところ：大阪市大杉本町キャンパス

卒業以来初めて同窓会を企画していたところ、学内ツアーとセットの同窓会プランがあると、今年になって同期の上田泰君から知らされて、すぐそれに飛びつき、即実行となった。会日の翌日には台風25号が接近ということもあり、出席者は30人であった。

当日はまず、大学センター交流室の松岡さんと光岡さんの先導で、学内ツアーとなる。杉本町キャンパスの核とも言うべき学術情報総合センター屋上に上がり、市大の全貌を確認。1号館前で全体写真を、五代友厚像前でクラス写真を収める。参加者のほとんどが初めて目にする法学部棟や田中記念館には目を見張る。一同約50年での変貌・充実ぶりを実感した。

パーティは同センター1階の「野のはなハウス」で。前半は全員2分スピーチしてもらい、後半はフリー歓談とした。



終了近くの特別スピーチでは、弁護士をしている佐藤健二君から近年の法律改正についての解説があり、さらには市大に8年間在席し苦心の末に弁護士となった恵崎和則君の苦学生体験談を拝聴した。

二次会の席では、次回同窓会を来年にもしようとの話も出て、かつその世話を人に立候補する人も現れた。こういう企画を誰かがするだろうと思っていた、という話もあった。会が終わった翌日からも、有意義であったの声が殺到した。会自体の運営には種々不行き届きのところがあったが、まずは初めて開催した意義はあったようだ。

青木育志(法昭46卒)



会員のひろば



第7回 先輩との交流会

よつば会では、看護学科・看護学研究科の学生への支援として、学生が卒業後のキャリアアップ・キャリアデザインをイメージできるよう「先輩との交流会」を開催します。

今年度は、1月23日(水)に、大阪市立大学医学部附属病院勤務の看護師(平成28年卒)・助産師(平成29年

卒)、大阪市内の保健福祉センター勤務の保健師(平成29年卒)、私立中学高等学校勤務の養護教諭(平成20年卒)、企業の健康相談室勤務の産業保健師(平成20年卒)、訪問看護ステーション勤務の訪問看護師(平成6年卒)の先輩卒業生6名にお越しいただきました。

現在の仕事内容や、その職種を選んだ理由、就職活動、仕事のやりがいなどを具体的にお話いただき、楽しく充実した毎日を学生に伝えて下さいました。今年は、学部1年生から3年生までの多くの学生が参加し、自由に情報交換できる場では予定していた時間を超えるほどの盛り上がりでした。学生からは、不安に感じていたことや疑問を持っていたことを、先輩たちが経験されたことを交えて詳しく教えて頂き、就職や進学などを考える機会となったと好評でした。

また、お越しいただいた卒業生同士も情報交換をされたり、楽しい時間を過ごしながら、久々に訪れた母校を懐かしんでおられました。

岡野あすか(よつば会書記)



ゼミOB会

第7回経済学部玉井ゼミ全体同窓会

とき：平成30年11月24日(土)

ところ：天王寺都ホテル

3年ごとの開催の度出席者数が伸び、今回は90人近くが集まりました。

玉井先生は2014年に愛知学院大学へ移籍されましたが、司会の守安遙奈さん(愛知学院・玉井ゼミ4年)の他、同大玉井ゼミの学生・卒業生も多数来られました。

会は写真映像作家の松井みさきさん(平7年卒)の挨拶の後、税理士の早澤照一さん(昭58年卒)より乾杯の音頭を頂戴して始まり、途中、ゲストの土屋公充子さんと近藤

義子さんによる「歌とピアノのコンサート」を挟み進みました。出席者は自身の近況やゼミでの思い出を語り、先生の優しくユーモアに溢れたエピソードも聞かれました。最後に松山東雲女子大学講師の宮地克典さん(平18年卒)の締めの言葉で3年後の再会を誓い、お開きとなりました。

卒業後年数を経ても集まる機会があり、同じ師から学んだ先輩後輩との縁に幸運と有難みを感じます。なお、集合写真は出席者多数につき2回に分けて撮影しました。

瀧本真微(経平27卒)



八星会・懇親会(谷口知平先生・民法ゼミOB会)

とき：平成30年10月6日(土)

ところ：難波・日本料理「川富本店」

大先輩の木村元三さんから八星会誕生の経緯について、『先生は、学問だけでなく多くの趣味を持たれ、いろいろな方の話を興味深く聞かれる方であった。先生から、横のゼミ会はあるが、縦のゼミ会がないので作って下さいと言われたので、八星(先生の俳号)会を作った。皆さんの努力で、先生のご逝去後も続けて頂いており、毎回出席することを楽しみにしている』とのご挨拶があった。各自のスピーチは次の通り。『私も、この会に参加することを楽しみにしています』(桑原洋子)。『先生が、「論文を書く前には、必ず読まなければならない本がある」と言われたことを肝に銘じて論文を書いています』(小早川義則)。『プロのヨットマンとして世界一周を8回行った。72歳で現役引退したが、当会での法曹人や他の人の話に感動することが多い』(笹岡耕平)。『3~5歳の発達障害の子供を預かる施設の管理を行っている。近年老齢化が進む中で在宅介護制度が広がりつつあるが、少子化の中でなかなかスムーズに進まないのが現状』(金子紘一郎)。『母の介護を行って2年ほどになる。今年の敬老の日に100歳の母に対し、内閣総理大臣から「賞状と銀杯」、高槻市長から「賞状と紅白饅頭」を拝受した。なかなか厳しい仕事を感じているが、報われた想いがした』(松下健二)。『現在88歳だが、体力が続く限り弁護士活動を続けたいと思っている』(奥中克治)。『先生の多様性を認める大きな思想を長く伝えていくために、この「八星会」を持続させていきたい』(菅野博之)



菅野博之(法昭35卒)

松下健二(法昭45卒)

TN会(富永ゼミ昭和31年卒)

とき：平成31年4月2日(火)

ところ：有馬温泉 月光園(鴻臚館)

「元気そうやな」と八十路半ばの仲間が、しばしの団欒を渓谷の温泉で楽しむ。平成5年12月に還暦を祈念して、インドネシアを旅して以来、TN会は平成と共に53回を数える。桜花爛漫年々同じですが、歳々人同じからずも、自然の流れか。しかし、学生時代の友との語らいは超高齢者の身には、こよなく楽しい一時でした。令和元年の第54回目(幹事は細谷)の再会を約し解散をする。

明日死ぬと思って生きよ

永遠に生きると思って学べ

マハトマ・ガンジー

坂田芳郎(経昭31卒)



第13回再開東京生川会実施報告

とき：平成31年2月20日(水)

ところ：日立金属・高輪和彌館

商学部生川ゼミの東京地区OB会(東京生川会)平成17年に再開後13回目を迎えた。

第8回より連続して講義して頂いている池田孝夫さん(昭46年卒)に「最近の経済・金融・為替市場について(米中激突トランプの壁 Chaosの時代に)」を40分間プレゼンして頂いた。

池田さんの講義の後、18時20分より宴会が始まり、坂根さんの挨拶、服部さんの乾杯のご発声と続き、歓談に入った。1年振りの再会にも話が弾み、旧交を温めた。

神戸から駆け付けられた窪田さんから復活した関西生川会の第3回開催の報告があり、参加者が少し減ったが、今後も継続開催すると決意表明された。参加者全員が近況を報告。経験した病気や趣味・運動の話とともに、「今後はできるだけ参加したい」と抱負を語った。

最後に、逍遙歌「桜花爛漫」を参加者全員で3番まで歌った。記念撮影の後、次回の再会を祈念して散会した。次回は令和2年2月20日(水)の予定。

案内の届いていない方は楠本安男まで。

(alchan_kusuchan@yahoo.co.jp)

楠本安男(商昭46卒)

会員のひろば



杉本クラブ第54回(秋季)例会

とき：平成30年10月25日

ところ：番屋(神田店) 出席者 11名(写真参照)

去る10月6日の東京有恒会総会の熱氣冷めやらぬ日に、杉本クラブ秋季例会を神田の和風割烹で開催。久々に若尾壽幸氏が会に復帰。

先ずは、藤村氏の挨拶と番場氏の乾杯でスタート。本日のスピーチテーマは、『捨てるに捨てられない我が家の困りもの』。名刺、アルバム、ピアノ、旧式のパソコン、書物、病でサイズの合わなくなった背広、鉢植え、「臍の緒」等がその品のエピソードと共に熱く語られた。中で特筆すべき話は、父親が子供名義で取得した6千㎡の未開拓の土地の処分に頭を悩ませている話やら、「最近耳が遠くな



同好会

り、しかも多くの物事を記憶しにくくなり、言ってみれば、我が家では私自身の存在が一番の困り者。」と、シリアスな内容も。秋野菜の陶板焼きに舌鼓を打ちながら瞬く間に時間は流れ、最後は、山本氏の見事な締めで閉会。

前田寿雄(商昭49卒)

弁護士法人 なにわ共同法律事務所

弁護士 鬼 追 明 夫 (法昭 32卒)

事務所 〒530-0047

大阪市北区西天満2丁目3番15号
千都ビル2階

TEL. 06-6363-2191 FAX.06-6363-1468

URL : <http://www.naniwakyodo.com>

第17回銀座有恒会 秋のハイキングー元禄から明治の両国を歩く

とき：平成30年10月27日(土)
ところ：両国駅南～西

秋の行楽日和。名所旧跡：回向院・猫塚～大高源五の句碑～もゝんじや発祥地～旧両国橋・広小路跡～一之橋～江島杉山神社～塩原橋～吉良邸跡～勝海舟生誕地。→コース外榛ハンノキ稻荷神社～北斎美術館。

先の戦争で歴史的建物が全て焼失し、残るは「石碑」と拡幅された堀のみ。ガイドの説明に耳を傾け、随所に設置された「忠臣蔵吉良邸正門跡…

解説…22墨田区」のような新しい案内板とパンフを見ながら、ありし江戸に思いを馳せる。

ガイドは地元シルバーご婦人2名、2時間程を活発に説明。料金は参加者1人当たり500円、価値あり。

収穫：①回向院「猫塚」。飼い主の魚屋が病で商売できず生活が困窮。可愛がられていた猫がどこからともなく二両のお金をくわえてくる…。

②北斎「潮干狩り図」(重文、大阪市



立美術館所蔵)。江戸情緒に溢れる!

③精忠義士実録巻之十九翻刻。当会世話役、樋上さんの労作で事前に配付。討ち入り～義士処分まで、実録原文の写しと翻刻文が丹念に記載され、講談師気分で音読するにふさわしい名文！ 西尾大次郎(経昭35卒)

三四五会(経33・34・35卒ゴルフ愛好会)

とき：平成30年11月26日
ところ：梅田“聘珍樓”(中華料理)

春夏秋は1泊2ラウンドゴルフコンペを開催して来ましたが平均年齢83歳に達した昨年から、夏を遅めにして(昨年は9月28日開催)年2回の開催になりました。その替りに秋の終わりに昼食会を催し心ゆくまで語り合うことになりました。

西尾雅一(経昭34卒)



第5回虎耀会開催(矢野新監督就任お祝い)

とき：平成31年1月10日
ところ：大阪市北区堂島浜 ラ・グリーデン

阪神タイガース矢野耀大新監督を囲む食事会には過去最多の26名の方々がご出席。柳原会長、矢野監督のご挨拶、荒川学長の乾杯のご発声の後、食事歓談の時間に移り、矢野監督に多くの質問が寄せられました。矢野監督は硬軟入り混じった質問にすべて丁寧にご回答。来季の展望もお聞きしました。中でも私の印象に残ったお話は、①厳しくするよりも選手の立場になって考え、自主性を重んじたチームにしていきたい②好きな監督、嫌いな監督、理想の監

督は星野さん③失敗するのは悪くはなく、失敗を積極的に見直し次に繋げるために考えること等です。食事が終わり全員で写真撮影。若尾さんの音頭による六甲おろしの合唱、荒牧さんの矢野監督へのエール、牧野副会長のご挨拶の後、タイガースの活躍を願い、お開きとなりました。

小林明生(経4回生)(市大猛虎会会長)



物流を通じて豊かな明日に挑戦

 株式会社 杉村倉庫

杉村グループ： 杉村運輸株式会社
杉村物流サービス株式会社
杉村興産株式会社

本 社： 〒552-0013 大阪市港区福崎1丁目1番57号
TEL 06-6571-1221 Fax 06-6574-8595
東京事務所： 〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目2番10号
TEL 03-3272-2441 Fax 03-3272-2446
営 業 所： 関西圏 4営業所、首都圏 4営業所

ホームページ： <http://www.sugimura-wh.co.jp/>

3S会(阪神タイガースの未来を考える会)

とき：平成30年11月19日(月)

ところ：半蔵門ダイヤモンドホテル金剛飯店

私達は元阪神タイガースの八木裕氏をお招きし今年2回目の食事会を行い、八木さんとプロ野球球団の戦いを振り返り懇談した。タイガースに関しては「若手の伸び悩み」「ベテランの起用が不十分」「外人選手の不振」等の話題が出た。特にストレス耐性のある選手にどう育てるかが課題だ。来シーズンに向けて～監督・コーチ陣は一軍と二軍の大半が交替しただけで不安要素が多い。私達は矢野監督を応援し①フロント、監督・コーチ、選手が一体となったチーム運営②特に外人2名・トレード2名の大型補強③ベテラン・中堅の重用④若手の育成等によりチームの大躍進を

期待する。八木さんはこの会を「阪神タイガースの未来を考える会」と命名され、再会を期し閉会した。

樋上晴雄(法昭45卒)



第18回銀座有恒会の新年勉強・食事会

とき：平成31年1月26日(土)

ところ：東京都中央区銀座7丁目 銀座ライオン7丁目店

S45法卒樋上氏よりの大阪市大と大阪府大の統合の経過(将来の統合大学の候補キャンパスに森ノ宮地区を大阪市長が提示、統合新法人理事長に大阪市大の前学長西沢良記氏、2大学の統合につき大阪府・市、各議会とは未調整)、「銀座有恒会 6年のあゆみ」誌の発行等の説明、報告で新年会が始まった。司会のS49工卒中尾氏より、幹事6名の継続とハイキング会、新年会の開催予定日などの通知が行われた。食事会に移り、川中より「銀座有恒会になぜ参加するの?共感との関係」の題目で、大阪市大卒の誇り、人との付き合いでの本当の共感の大切さ等の話を行った。S40商卒栗林氏の平成最終の今年も、元気で頑張って行こうと乾杯の発声で懇親会の部が開始となった。参加各々から、「チラシ配りで体力回復」「ミャンマーで死にかけた」「年と若さは関係ない」「孫との会話が通じない」「鳥ガイドやってます」等の現況報告があり、有意義に楽しく新年会は幕をとじた。



川中凱雄(商昭40卒)

写真部を創部された故高原慶一朗先輩を偲んで

高原慶一朗さんは、2009年秋の銀座有恒会で講演中に倒れ入院され、2018年10月に亡くなられるまで、大変な闘いを繰り広げられました。

高原先輩のことは、2010年に日経新聞「私の履歴書」に連載され、自ら創業されたユニ・チャーム(株)を衛生用品のトップメーカーに育て上げ、また市大の学生時代に写真部も創部された人です。

旅立ちから約2か月後の11月29日、東京の帝国ホテルで「お別れ会」があり、会場内は、人、人、人で交友の広さがそこに表っていました。また会場には高原先輩を偲ぶ数々の写真パネルが飾られており、何事にも全力で取り組む高原先輩のお姿がありました。ご冥福をお祈りいたします。

若尾壽幸(法昭58卒)

市大写真部を創部され、ユニ・チャーム(株)を創立された高原慶一朗さん(商昭28卒)とは、私は入部してから30数年の間、何度かお会いできましたが、高原先輩は、2018年10月3日に旅立って行かれました。その写真部もまた、私の学生時代を通り過ぎ、今の学生たちが引き継いで支えています。

高原先輩は、まさに“創り出して、育て上げる。”そういう人生を全うされたのだと思いました。

相田みつをさんの言葉「一生勉強 一生青春」を座右の銘として、ご多忙で勢いのある中で、優しさにあふれた87年の人生を過ごされた高原先輩。どうか、ごゆっくりとお休みください。

北野好浩(文平2卒)





大阪市立大学での看護教育の歴史は、社会情勢や看護教育の発展に伴い変化してきた。「大阪市立大学での看護教育の歴史(上)」では、看護師養成課程についてご紹介したい。

最初の看護師教育は、1949(昭和24)年に大阪市立医科大学(現大阪市立大学医学部)に付設して設立された大阪市立医科大学厚生学院から始まった。3年課程、全日



看護専門学校での「戴帽式(たいぼうしき)
ナースキャップを戴き、看護実習に臨む決意を抱いた。

制、1学年定員20名で発足し、校舎は附属病院内的一角に設置された。1955(昭和30)年には大阪市立医科大学が大阪市立大学に編入され大阪市立大学医学部になっ



ナイチンゲール
看護専門学校から看護学科へ
引き継がれた。

玉上麻美 (看昭60卒・看博平25修)

たため、大阪市立大学医学部附属厚生学院と改称した。その後、1963(昭和38)年には全国に先駆けて2年課程の夜間定時制、第2部(昼間開講の3年課程は第1部とした)が併設された。学校教育法が改正され、専修学校制度が発足した1976(昭和56)年には厚生学院から大阪市立大学医学部附属看護専門学校に改称した。その後、第1部の定員を80名になると同時に、20年間で総数510名の卒業生を送り出した第2部を1984(昭和59)年に廃止した。医学・医療の急速な進歩や社会の大きな変化により、多様な看護ニーズに対応できる質の高い看護職の養成が求められる中、看護専門学校から大阪市立大学看護短期大学部へと改組編成し、旧校舎を中心とした敷地内に独立棟が完成し、現在も同校舎で学生は学んでいる。少子高齢化や医療の高度化、医療看護ニーズの複雑多様化等に伴い、病院や地域においてさらに質の高い看護ケアを提供できる人材が求められてきたことから、2004(平成16)年に大阪市立大学医学部看護学科が開設され、同時に保健師養成校の大都市立保健専門学校が閉講となり、保健師教育が受け継がれた。その後、2008(平成20)年に大学院看護学研究科前期博士課程、2010(平成22)年に大学院看護学研究科後期博士課程が開設され、看護学における学部から大学院での一貫教育が可能になった。歴史をたどれば、大阪市における看護師・保健師教育の流れを受け継ぎ、発展し、大阪市の看護師・保健師養成の中核を担ってきたと言える。次号の「大阪市立大学での看護教育の歴史(下)」では保健師教育の歴史をご紹介する。



現在の看護学科学舎
阿倍野キャンパス内にある。

「アドバンス・ケア・プランニング」を知っていますか?

Advance Care Planning(ACP)



大阪市立大学医学部附属病院 がん看護専門看護師 鶴田理恵(看平3卒)

人は生まれてから自分のことを自分で決められるようになってから、意思決定の繰り返しで生きています。朝起きて、何を食べよう、何を着ようといったさりげない日常のことから、学校の授業の選択、進路、仕事、結婚、出産、退職など、人生において多くのイベントがあり、それらのことを決めるには様々な思いを巡らしてきたことでしょう。その時、自分の中の大切なことや周囲の人の思いなど様々なことを考え決断しています。病気や人生の最終段階に関することは、できれば避けたい出来事です。しかしながら、それも、私の人生の出来事です。病気になったとき、自分が生きてきた信念や思い、大切なことは多少変化があったとしても、その人らしさは変わらないのではないかでしょうか。

医療において、患者・家族・医療従事者の話し合いを通じて、患者の価値観を明らかにし、これから治療・ケアの目標や選好を明確にするプロセスのことを、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)といいます。超高齢社会に突入した我が国では、患者さんの人生の締めくくりの時期に、家族や医療・ケア関係者がどのように寄り添うかがとても大切な課題となっています。2030年には、75歳以上の人口の割合は20%まで増加し、独居高齢者の割合は36.2%に達するといわれています。もしも意思表示ができなくなったときでも、自分が

大事にされたと実感できるその人らしさを尊重する医療は、地域で支えていくことが必要です。

厚生労働省は、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン(平成30年改定)」の中で、意思決定支援においてはこのACPの考え方を提唱しています。また、ACPの愛称を「人生会議」とし、国民全体が、日常からご自身のもしもの時のことを踏まえ、大切な人と話し合うことを提案しています。人は人との関係の中で生きているからこそ、大切な人に言えないこともありますし、それは思いやりという日本人らしさでもあります。しかし、「まさか、、、」ということは、高齢者に限らず誰もが体験しうることです。もしもの時、例えば、病気と闘いながらどんなふうに生活と両立させたいのか、命の最終段階にどのような医療を受けたいか、自分らしくどう生きたいか、自分の生きる意味は何だろうか、最悪な時だからこそ日ごろ支えてくれる大切な人へ感謝を伝えたい、と考えることは当前のことで決して不吉なことではないと感じます。11月30日(いい看取り・看取られ)を「人生会議の日」とし、人生の最終段階における医療・ケアについて考える日となりました。こうした日をきっかけにして話し合いをしてみるというのも良いかもしれません。



切削工具専門商社
お客様の生産性向上に貢献する高度専門商社



代表取締役
柳川 重昌
工学部応用物理学科
1969(S44)年3月24日卒

株式会社 **Cominix**

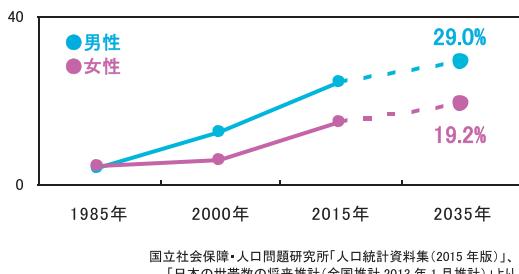
婚 活 最 前 線

現代結婚事情レポート

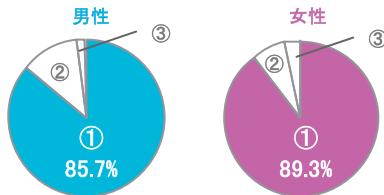
もはや「結婚は当たり前」という時代ではない！

婚活のススメ

16 年後の 2035 年には、「男性の約 3 人にひとり」「女性の約 5 人にひとり」は、生涯未婚になると予測されています。



一方で、男性・女性ともに「結婚したい」という思いを持っています。そして、「婚活をしたい」と思っています。



- ①いざれ結婚するつもり(男性 2319 名・女性 2296 名)
- ②一生結婚するつもりはない(男性 324 名・女性 205 名)
- ③不詳(男性 62 名・女性 69 名)

国立社会保障・人口問題研究所「第 15 回出生動向基本調査(2015 年版)」より

【生涯未婚】50 歳までに一度も結婚したことがない人をいう。

【婚活】結婚するための活動を就職活動に見立てたことば。

社会学者の山田昌弘氏が考案・提唱した造語。

結婚相談所のイメージ

以前はネガティブなイメージを抱く人も多くいた結婚相談所ですが、婚活ということばが日常用語として使われるようになり、そのカジュアルな語感もあいまって自らカミングアウトする人もいます。

披露宴で私たちのお見合いを再現



M.K さん
30 代・女性

結婚披露宴で、私たちが初めて出会ったお見合いの場面を再現し、出席者の皆様に実際にみていただきました。友人からも「自然な感じの出会いだったんだね」といわれました。「どこで」ではなく、「誰と」出会うかが最も大切なことだと思います。

〈婚活意識調査結果〉		*回答者の割合を表示	
	男性	女性	
1. 友人に紹介を頼む	43.4	51.7	
2. 職場の同僚や先輩に紹介を頼む	25.3	25.7	
3. 合コンやパーティに行く	26.8	31.8	
4. ネットの婚活サイトを利用する	6.7	6.1	
5. 親や親戚に紹介を頼む	3.2	4.2	
6. お見合いをする	9.4	10.6	
7. 民間の結婚支援事業を利用する	4.5	6.4	
8. 地方自治体などの団体の結婚支援事業を利用する	4.2	4.7	
9. 特に何もしない	34.2	27.4	

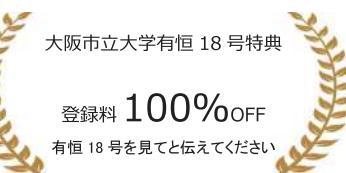
内閣府「平成 26 年度結婚・家族形成に関する意識調査報告書(2015 年版)」より

結婚情報サービス 株式会社ブライダル

Network／東京・湘南・豊橋・名古屋

(株)ブライダルは大阪市立大学校友の皆様の「結婚」を応援します。

40 年以上の実績



大阪市立大学有恒 18 号特典

登録料 100% OFF
有恒 18 号を見てと伝えてください

●お問い合わせ・資料請求はフリーコールか HP からどうぞ



0120-415-412

(株)ブライダル

検索

<http://www.bridal-vip.co.jp>

WEB サイトへのアクセスは
こちらからどうぞ
未対応の機種もあります





親も婚活をしている時代

親同士が釣書を交換し合う、「親の代理見合い」を初め、「親の婚活」を後押ししているところもあります。

また、親向けのセミナーを無料で開講している結婚相談所もあります。

子どもの結婚式は親の子育て卒業式

披露宴のスピーチを紹介します。

「…親にとっても、今日は子育てを卒業する晴れの卒業式です。どうぞ、いま一度私たち 4 人の老夫婦にも盛大な拍手をお願いします…」

皆様に祝福していただき、私たちにとっても、感慨深い式でした。



H.N.さん
60代・男性

親御様対象「無料」セミナー随時開催中！



プログラムの一例

- ①現代結婚事情
- ②若者の結婚観
- ③子どもへの接し方
- ④個別相談

お問い合わせ・お申込みは、(株)ブライダル

通話無料 0120-415-412 までどうぞ

トレンドイー or トラディショナル

結婚相談所のサービスもさまざまです。

パソコンやスマホを使って、自宅で気軽に相手を検索することができるコンピュータマッチングはもとより、最先端技術である AI マッチングを導入して、相手を選ぶことができるところもあります。

その一方で、機械に頼らず、仲介人が経験や感覚を活かしてマッチングするといった伝統的なスタイルの結婚相談所も改めて注目されてきています。

【AI マッチング】過去にお見合いを申し込んだ方の容姿から好みの容姿の傾向を AI が分析して、候補者に推薦するといった最先端のコンピュータマッチング。

婚活セミナー

お見合いや交際に必要なコミュニケーションセミナーを開講している結婚相談所もあります。

婚活だけではなく仕事にも役立ちました

「とりあえず」という軽い気持ちで受講しましたが、仕事や人間関係を築いていく上でも役立つ内容でとてもよかったです。今まで生きてきた中で、こんなにほめていただいたことはありませんでした。自分に自信が持てるようになりました。



N.T.さん
30代・男性

お見合いネットワークシステム・プレマリ



IBJ（日本結婚相談所連盟）加盟
JBA（日本結婚相談所協会）加盟

- ①登録会員 85,000 名以上 (2019 年 4 月現在)
- ②いつでもお相手検索が可能
- ③IBJ・JBA のお見合いネットワーク利用可能

<http://www.premarri.com>

【事務局】愛知県名古屋市中区栄 3-7-13
コスモ栄ビル 9F ブライダル名古屋本社内
TEL.052-238-5920

WEB サイトへのアクセスは
こちらからどうぞ
未対応の機種もあります



あいライフデザインセミナー・あいラボ



Ai Life Design Labo

研修講師派遣

一般公開講座

お問い合わせはメールでどうぞ
E-mail.all@ai-lifelab.com

婚活セミナー・講演

<http://www.ai-lifelab.com>

【東京オフィス】ブライダル東京本社内
【名古屋オフィス】ブライダル名古屋本社内

WEB サイトへのアクセスは
こちらからどうぞ
未対応の機種もあります



同窓生の図書紹介

花々の苑へ 夫の母、101歳の選択

福井康子(文昭35卒)

健やかに独居の夫の母が或る朝骨折。四ヶ月の闘病後自らユニット型特養ホーム入居を選択。母の新生活に伴い70歳代の子供嫁五人も新スケジュール開始。十人の隣人との出合い、繰り広げられる悲喜交々のエピソード、入居者の徐々なる変容と切なくもいつしかの別れ、施設職員・介護士と家族の健闘ぶり等を長男妻が綴った。因みにヒロイン108歳はそれなりに健やかである。扉に「其処は侘しくも陰ってもいな。中略。唯其処を流れる時間は未だかつて視たことの無いもの」と記したが、私自身は未視の時と其処にたゆたう花々の姿と命に何時も想い重ねられていた、言わば老女の共感(観)の記、人生への悲哀の書でもあります。「良きモデル」との巡り会いを感謝申しています。

【追記】本書はホームに入居した親の介護の見本のような本。著者は持ち前の明るさとウィットに利いた表現力で、老親のみならず他の入居者やホームのスタッフの心を和らげ、慈母の如く迎えられます。生・老・病・死の四苦を乗り越えた超越的なものを感じられ、市井の人生書としても面白い一冊です。

(私家版、2018年10月)(編集者)



連結経営実現のための キャッシュ・マネジメント・システム

福嶋幸太郎(商昭58卒)

CMSは、金融・財務担当者にとって、言葉や概念は一般的である。しかし、実際に活用する企業はグループ展開する企業に限られるため、CMSを論じた書籍は希少である。

また、CMSの書籍が少ないのは、CMSが現預金の効率性に焦点を当てたもので、製造業のジャストインタイムのようにグループの現預金のプロセス管理手法で、基準や規則がなく、財務分析の対象にもならず、学術的研究テーマになりにくいからである。

事業特性による資金調達構造や金融機関との関係は様々で、財務統制の体系化は困難である。本書は、企業(14社)の面接調査を基に、その実態を分析され、非常に興味深い内容となっている。また、学問と実務の両面を把握できる書籍として秀逸で、企業財務関係者、金融を研究する方へ是非お薦めしたい。

(金融財政事情研究会、2000円 税込) 富藤泰記(商昭58卒)



漢詩詩集「燭下夜吟」

畠中暁来雄(法平3卒)

上梓した本書は私家版で、表題作「燭下夜吟」は次ぎのような作品となっている。

一薰風逆旅共題詩 短夜燕安君莫辞
憲法精神真快意 遊人燭醉吟時(上平声 四支の韻)—これは、私が初めて参加した詩吟の団体「新興吟詠会」大会(2011年5月3日開催)後の宴会の様子を、李白の「春夜宴桃李園序」を典故に創作したものです。それ以来、創作してきた漢詩から30篇を選び一冊にまとめたのがこの拙詩集です。

高校時代から漢文に興味を持ち「孫子」「論語」「孟子」を読み、大学時代も法律書より「莊子」や中国古典の解説書に手を出す不実者でした。この冊子には春夏秋冬を愛でつつ、日本国憲法や沖縄問題、原爆被害その他社会的作品(「思念沖縄平和」「於長崎木陰祈」など)で「論語」や「楚辭」を典故としたものも収め、大胆にも自説を訴えてみました。

(私家版、2019年2月)

筆者記



よみがえった茅葺の家

有村桂子(生昭41卒)

この本は神戸市北区道場町にある通称くらがり峠添いに立っていた茅葺古民家の移築、再生の記録である。

神戸市は中心市街地より車で20分の農村部に多くの萱葺き古民家が存在しており、昔ながらの美しい日本の風景をつくりだしている。この家は高速道路が敷地の上を通過することになり、移転または撤去を迫られていた。

この古民家は江戸時代後期に建てられた神戸市登録有形文化財第一号のものである。持ち主のO博士はこの家で生まれ育ち、また、今は亡くなられた母上が大切に守ってきた古民家を移築、再生しようと考えた。

その思いを受けいるか設計集団とその仲間たちは、古民家の実測からはじめ、この家の実態を明らかにした。

工務店による解体の過程も丁寧に記録した。解体の過程で発見された8メートル以上ある牛梁の存在も古民家の架構の素晴らしさを認識させた。古民家を現代的な生活ができるように再生させた記録である。



(建築ジャーナル、1500円+税)(編集者)



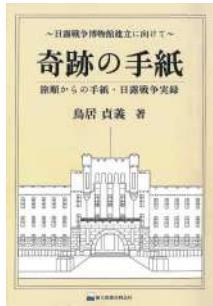
奇跡の手紙— 旅順からの手紙・日露戦争実録

鳥居貞義(商昭34卒)

本書まえがきに、タイトルの「奇跡」の由来が書かれている。筆者の祖父は、日露戦争に従軍し、27歳の若さで戦死。戦地から家族にあてた手紙が、旅順日露戦争を描いた【第一の奇跡】、第二次世界大戦の日本空襲で疎開先では家財が焼失するも、その手紙は大阪にあって空襲を免れた【第二の奇跡】、戦後の転居時の荷物処分から免れて発見された【第三の奇跡】、この三つ奇跡が起つて発見された祖父の戦地旅順からの手紙をベースに資料編(大阪市内の日露戦争記念碑、ロシア兵墓地探訪等)、執筆仲間による「日露戦争の背景」からなる本書を上梓された。あとがきに「日露戦争博物館」を建立すること、「日露戦争戦死者の遺品を掘り起こし、保存・公開することが、今の歴史を生きる我々の責務」と本書のミッションを綴る。

(研究出版合同会社、2019年、1000円+税)

上村修三記(商昭53)



「千田町物語」 「黄昏のビギニング」

森定 学(経昭44卒)

私の父がこの度、小説2冊を出版した。「千田町物語」は、1970年代、東京系の都市銀行に勤める主人公が初めて都内の支店に転勤、文化や言葉の違いに戸惑い、失敗を繰り返しながら、上司や仲間に助けられ励まされて成長していく物語で、元は父の自伝である。

「黄昏のビギニング」は、豊かになりたいという思いを実現した60歳代後半の元銀行員が主人公である。同窓会で郷愁を満喫し、自治会活動で自己の存在感を示すも、家族との絆のほころびを感じる。突然の病で幸せの絶頂からどん底に突き落とされ、自分が求めていたものへの疑問と大きな不安を持つ。企業戦士が働き終えた時に心の隙間を埋めるものは何なのか。故郷や子どもの頃への郷愁か、まだ物足りない満足感か、子ども達が独立し妻との二人きりの生活をどう生きるのか。本書を読んで今の自分の生き方を見直したくなつた。

(いずれも文芸社、2018年8月、1200円+税)

森定 崇記(商平9)

テキストマイニング入門

末吉(旧姓 渕上)美喜(生博平11卒)

「テキストマイニング」とは、自由記述式のアンケートやSNSのクチコミなどを用いたリサーチやアイデアの探索などに威力を發揮する技術であり、マーケティングや学術研究、人工知能など、幅広い分野で活用されている文章の分析技術。

以前は高価なテキストマイニングツールが必要でしたが、今ではフリーで使用できるツールも幾つか開発され、本書では立命館大学樋口耕一氏によって開発されたフリーソフトツール「KH Coder」とExcelを使って、テキストマイニングの基本的な考え方やKH Coderの使い方を解説。

テキストマイニングやデータ分析に馴染みの無い人にも気軽にデータ分析にチャレンジしてもらいたいとの思いから、数字を扱うことに苦手意識のある感覚派女子を主人公とした漫画やイラストを用いて分かりやすく書いたので、データ分析の第一歩を踏み出すきっかけの一冊となれば幸いです。

(オーム社、2019年2月、2500円+税)

筆者記



かえでの葉っぱ

関沢明子(生昭40卒)

学生時代の彼女はもの静かな読書家。児童文学が好きで、常に遠い未来をみつめる眼を備え、この分野でいつか活躍することを同期生に予感させる人でした。チェコスロバキア

(以下、チェコ)に興味を持ち、この国の言語を学ぼうと決意したのは、すぐれた子どもの本の文化を有し、当時この国が「プラハの春」の少しあとで、国自身が豊かな変化の可能性を秘めていると思ったからだという。今まで11冊のチェコの児童文学を翻訳。1984年～86年にはプラハに住み、チェコを肌で感じながら翻訳の腕を磨きました。本書には、チェコの森や畑が広がる美しい自然の風景が描かれており、見ること、聴くこと、感じることの素晴らしさをおとなも子どもも味わえる一冊です。また、その他各地の図書館で「関沢明子」で検索すると大半の翻訳書が所蔵されているので、ご一読ください。

(理論社、2012年初版、1800円+税)

同期・児童学専攻生一同記

追悼のことば



日本古代史学者、直木孝次郎先生を偲ぶ

柳原恒久(法昭36卒)



2月17日早朝、尊敬申し上げる大阪市立大学名誉教授直木孝次郎先生の突然の訃報を知り、ただただ残念の一語に尽きる思いです。先生は神戸出身で神戸一中(現神戸高校)の大先輩であり、生まれも私と同じ、平清盛の福原京にあった雪見御所の近くでした。先生とのご縁は、在学中の日本史の講義に始まりますが、特にご縁が深かったのは、2005年「河内政権論の根拠と河内政権の消長」というご講演を聴講して以来で、著作本を拝受したり、お会いしてお話ししたりと、大変親しくさせて頂きました。

「古代河内政権の研究」の内容は、4世紀末から5世紀にかけて大阪河内平野に台頭した河内政権が奈良盆地に進出し、それまでの第一次大和政権に取って代わる応神天皇がその始祖であったと主張され、「万世一系の天皇」像を否定する刺激的な内容でした。先生は「基礎文献であっても記述のすべてが真ならず」と考証を重ねてこられ、難波宮跡など遺跡の保存にも尽力されました。また、万葉集に親しまれ、「山鳩集」「白樺」の歌集を出版されました。1987年には歌会始の召人にもなられました。海軍士官としての戦争体験で、戦死した同年令の従兄弟を偲び、反戦の歌を多く残されています。

・戦いに負けて日本は良くなれど

そのために戦死した人の多さよ

・戦いの無き世を求むる憲法を 古しと叫ぶ人の古さよ

・君みまかり日本帝国亡びしが 天皇天寿を全うして逝く

平成最後の年に百歳の天寿を全うされた先生の、両手に重い書物を持ち新幹線から降りてこられる小柄な面影が彷彿とします。私にとり永遠に忘れぬ師であります。

(平成31年2月2日ご逝去)

多田吉三先生と言えば

山縣文治(社会福祉学科昭48卒)

私が学部に入学した時、先生は講師であったと思う。その後を含め、多田吉三先生(社会福祉学科昭29卒)の印象は三点ある。

第一は、とにかく早口であったこと。しかも、何か問い合わせされた時でも、ほとんど時間をおかずご自分で回答されるされるため、口を挟む余地があまりなく、ただ、うなづくだけのことが多かった。第二は、非常にこまめで、きちんとしておられること。後になって、「まめ吉」というあだ名で呼ばれていることを知ったが、本当にこまめで、気配りの先生であった。第三は、責任はご自分できちんと取られること。人に任せるよりは、自分ですべてする方が早いと考えられていたのか、仕事を周りに振られることはなかった。私は直接は知らなかったが、同窓会のお世話でも

そのような姿勢であったということを後々聞いたことがある。

所属する講座は異なったが、助手になってからは、よくお酒に誘ってもらつた。とにかく、愉快な酒であった。多田先生、私ももう65歳になります。遠からず、そちらにうかがいますので、その折りは、またお酒に誘ってください。楽しみにしています。
(平成30年9月4日ご逝去)

安田(旧姓多田)佐代子様を偲んで

福井康子(文昭35卒)

安田佐代子様(昭35英文科卒)が、平成31年2月18日朝、安らかに永眠されました。

告別式寸前に拙い追悼句をメールでお送りしましたところ、「母に捧げて連れて行って貰いました。母はコメントをどんな風にお返ししようかと悩んでいましたよ」とのご返信頂きました。

貴女はあちらで「まあこれ、句なの?」と苦笑していられたことでしょう。

深い眠りのうちに永眠に入られたと伺い安堵しました。そして「ね、貴女もこんな風に上手にこちらへいらっしゃいよ」とでも申していられるか知らん、とも思いました。

学生時代の貴女は神戸育ちのせいか、なかなかに小粋なレディでした。ダークグリーンのタイトスーツに真白いベレー、細いハイヒールでキャンバスをキュートに闊歩していられた姿を思い出します。豊かな感性で古今の文学、音楽、演劇、美術等文化芸術全般を総合的に捉えることの出来る教養人でした。

卒業後は、株式会社国際工機で英語力を生かし活躍、結婚後は三人の子達をもうけ良き家庭を築き、岡山県笠岡市の「安田工業株式会社」社長安田之彦氏のベターハーフとしてご献身、最晩年は少し病気がちで、歩行が不自由のご様子でしたが、今頃はきっと極楽の蓮池の周りをのどやかに散歩されていることでしょう。

いずれ遠からず私もそちらへまいりますから待っていて下さい。

追悼句

白梅の 次々咲きぬ 君逝きし朝

君昏昏と 深き眠りの 人となり

死は眠り 名科白のごと 君逝きぬ

釈迦牟尼の 涅槃図想いて 慰まん

今宵君も 月に翔ぶ 鶴のごとしか

在りし日の 笑顔ばかりが 溢れくも

君葬えぬ わが身口惜し

今ひとたび 語り合いたし 生きるとふこと

(平成31年2月18日ご逝去)

お詫びと訂正

前P46右下の写真は、P47左上の中西貞夫様の写真を誤って掲載したものです。
茲にお詫びして訂正いたします。



各学部同窓会及び 本部事務局のお知らせ

全学同窓会事務局

全学同窓会・各同窓会総会日程

●全学同窓会

令和元年11月3日(日)／時間・場所詳細未定

●有恒会

令和元年6月8日(土)／13:00～／学情センター10階

●理学部同窓会

令和元年11月3日(日)／時間・場所詳細未定

●工学部同窓会

令和2年2月予定

●医学部同窓会

令和元年6月15日(土)／16:00～／医学部学舎4階

●生活科学部同窓会

令和元年11月3日(日)／時間・場所詳細未定

●看護系同窓会よつば会

令和元年11月予定

●創造都市研究科同窓会

令和元年5月24日(金)／19:00～／文化交流センター

各支部総会・支部設立総会日程

6／ 1 (土) 京滋支部総会

6／ 1 (土) 北河内支部設立総会

6／ 2 (日) 奈良支部総会

6／22 (土) 湘南支部設立総会

6／29 (土) 愛媛支部総会

7／ 6 (土) 南大阪支部総会

13:30～／学情1階 文化交流室

7／20 (土) 大阪南支部総会

14:00～／高原記念館

8／24 (土) 姫路しらさぎ支部総会

14:00～／姫路じばさんビル

9／14 (土) 神戸支部総会

16:00～／神戸銀行俱楽部

9／21 (土) 福岡支部総会

17:00～／平和樓 天神本店

9／28 (土) 東北支部総会(時間・場所未定)

10／ 5 (土) 東京支部総会

14:00～／ナチュラック(飯田橋)

11／14 (木) 愛知支部総会

18:30～／名鉄ニューグランドホテル

11／16 (土) 鹿児島支部総会(時間・場所未定)

11／17 (日) 北摂支部総会

11:00～／千里阪急ホテル

12／ 7 (土) 宝塚支部総会

11:30～／宝塚温泉ホテル若水

※北海道・静岡支部は秋頃、徳島支部は12月開催予定

香川・山口・宮崎・広島・福山各支部は開催未定

三重・山陰各支部は本年開催せず(隔年実施)

横浜支部(仮称)設立準備会は6月23日開催

※詳細は同窓会HPをご覧ください。

各委員会の活動

広報委員会

- 大阪市立大学同窓会報「有恒」発行(7月、1月発行)
- 全学同窓会ホームページ運営(毎月1日、15日更新)
- メールマガジン配信(毎月15日配信)
- WEB部会(年2回開催)

在学生支援事業委員会

- 公務員OB・OGと公務員志望学生との交流会
7月6日(土)／14:00～／高原記念館
- 民間企業勤務OB・OGと民間企業志望学生との交流会
11月30日(土)／時間・場所詳細未定
他につぎの事業に取り組んでいる。
 - ・「女子学生夢支援」シスターフッドプログラム
(OGと女子学生との交流会)
 - ・海外勤務経験のあるOB・OGと留学生等との交流会
 - ・海外に挑戦する在学生・クラブ団体支援

五代友厚記念事業委員会

- 1) 寄付講座「国際ビジネス演習」開講(令和元年前期)
- 2) 「海外インターンシップ」(令和元年夏季休暇中)支援
- 3) 「五代友厚伝(仮称)」出版(令和2年11月刊行)
- 4) 「五代友厚伝タブロイド版(仮称)」出版
(令和3年3月刊行)
- 5) 「五代友厚伝刊行記念碑(仮称)」建立
(令和2年11月竣工)
- 6) 五代友厚イベント開催(11月3日)
- 7) 五代友厚パネル展示常設(於 学情1階)
- 8) 全学同窓会「五代友厚」HP運営(随時更新中)

なお、上記の委員会に属さない部会等はつぎのとおり。

女性部会(WPC)

5月および11月3日(日)開催／時間・場所詳細未定

教員研究会

8月10日(土)／10:00～／田中記念館 3階

若手同窓生支援部会

卒業生のためのビジネス交流会

- ・第9回 7月27日(土)／時間・場所詳細未定
- ・第10回 1月25日(土)／時間・場所詳細未定

(※)行事予定・各委員会活動の詳細については
大阪市立大学同窓会(全学同窓会)HPをご覧ください。
<https://www.osaka-cu.net/>

大阪市立大学・全学同窓会からのお知らせ

創立140周年記念事業プレイベント 第18回ホームカミングデー

11/3(日)／杉本キャンパス

◆講演会◆同窓会総会・懇親会◆音楽会

◆学長主催ウェルカムパーティーなど

懐かしい母校で楽しいひと時をお過ごしください。

第22回大阪市立大学ゴルフコンペ案内

全学同窓会・OCUSA(大阪市立大学スポーツアソシエーション)共催

市大OB・OG及び大学教職員の皆様他、多数の方々の御参加大歓迎です。

■日時:10月24日(木) ■場所:六甲カントリークラブ

■申込期限:9月20日(金)

照会・申込はOCUSA(担当:島田俊晴)まで

TEL&FAX:072-285-3737

メールアドレス:toshinospring@gmail.com

詳細はOCUSAホームページご覧ください。

<http://www.ocusa.net/index.htm>

大阪市立大学創立140周年記念事業のお知らせ

ハード面では大阪市立大学のブランド力を向上させるために

○大阪市立大学博物館を構想中

○1号館講堂・前庭、学生ホール、部室リニューアルを計画中

○全天候型グランド整備を計画中

ソフト面では、大々的なイベント・祝賀会を開催し、本学の魅力を内外に発信します。

○大阪市立大学創立140周年記念式典・講演会・祝賀会開催

令和2年5月9日(土)／ホテルニューオータニ大阪

創造都市研究科同窓会が有恒会に加入

2019年6月8日、創造都市研究科同窓会が有恒会に新しく加わり、創造都市研究科OB・OGは、有恒会会員となります。なお、創造都市研究科OB・OGによる新たな組織「大阪市立大学創都会(略称<創都会>)」が2019年5月に誕生し、商友会、経友会の活動を参考にしながら、講演会等を企画していきます。

創造都市研究科OB・OGの皆様には、有恒会・全学同窓会並びに創都会活動へのご支援、ご協力お願いいたします。

『五代友厚伝』(仮称)の刊行への協力お願い

五代友厚記念事業委員会

当委員会では五代友厚銅像建立(2016年3月)を機により多くの人に五代友厚の業績と人柄をご理解頂くと共に、若い世代の方には五代の思いと志を伝えるための事業活動に取り組んでいます。

その第一弾は、大学の創立140周年に合わせて、来年11月を目途に「五代友厚伝」(仮称)の刊行(著者:八木孝昌氏・経昭41卒)を予定しており、同窓会の皆様に寄付のご協力お願いしている次第です。

お陰様で合計金額1,429万円(725件、3月末日現在)に達しましたこと厚くお礼申し上げます。但し、当初予算2,000万円に対し未達ですので4月以降も郵便振込口座はそのまま残します。(事務局にご照会願います)

上記の刊行と併せて、昨年から五代友厚の志を受け継いで海外に羽ばたく市大学生を育てるために、大学への寄付講座「国際ビジネス講座」および「海外インターンシップ」を実施しており、多くの学生が参加しています。

今後共、当委員会の事業活動に対しご理解頂いただき、ご支援ご協力をよろしくお願いします。

文化交流センター談話室

ご利用のおすすめ(大阪駅前第2ビル6階)

談話室の利用時間が平日は午前10時から午後9時になっております。土曜日は午後6時までです。

受付担当は、同窓会OBが下記の通り担当しております。

泉 裕 (文昭32卒) 陸上部OB

佃 貞夫 (法昭34卒) 陸上部OB

藤井政治 (商昭38卒)

中村正治 (工昭41卒) 硬式野球部OB

芝野弘之 (工昭44卒)

梶巻正男 (理昭45卒)

竹中敏実 (経昭49卒)

卒業生・旧職員・職員の方ならどなたでも記帳の上、自由にご利用になれます。自販機がありますのでご利用ください。(泉 裕)

全学同窓会報誌 投稿規定

1. 投稿の種類等 原稿には、執筆者の氏名・学部・卒業年次、住所を明記して投稿お願いします。

種類	説明やお願い等	字数
1 論壇、随想	「表題」は付けて下さい。(関連及び顔写真)	1,200字以内
2 同窓短信	近況や思い出など。(顔写真)	400字以内
3 支部だより	支部関係の活動や諸行事。(顔写真)	400字以内
4 会員の広場	同期会、ゼミOBOG会、クラブOBOG会、同好会等の諸行事。(関連写真)	400字以内
5 図書紹介	原則、会員および大学関係者に限ります。紹介する図書1部のご提供お願いします。	400字以内
6 追悼のことば	故人の思い出など。(故人の顔写真)	400字以内
7 読者の声	大学、同窓会及び会報への意見等。(顔写真)	400字以内

※「図書紹介」を除き、原稿には原則として写真の添付をお願いします。

2. 原稿と写真等の採否および加筆・修正・削除など

- (1)原稿および写真等は、編集委員会に一任お願いします。
- (2)原稿の字数は厳守お願いします。オーバーした場合は、削除する場合があります。

3. 原稿の作成、提供と掲載について

- (1)原稿及び写真は出来る限りメールにてお願いします。
メール以外の原稿は郵送でお願いします。
- (2)個人情報保護のため、詳細な住所は同窓会報誌に掲載しません。
- (3)参加者('支部だより'と'会員の広場')の「氏名・学部・卒業年次」はスペースの関係で同窓会報誌には代表者のみ掲載し、全員の情報はHPにて掲載します。

4. 写真等(写真、PowerPoint、手書きの図表など)の提供について

- (1)記事の内容、雰囲気や状況等をさらに良く伝えるためにも、キャプションなど簡潔な説明を付いた写真等の提供をお願いします。
- (2)原則としてデジカメで撮影した写真ファイル(jpg)をメール添付にて送信してください。
- (3)プリント写真で提供の場合は、郵送してください。

5. 原稿の締め切り

- (1)1月発行……9月末日締め切り
- (2)7月発行……3月末日締め切り

6. 投稿方法と投稿先

- (1)メールアドレス
kaiho-b@ado.osaka-cu.ac.jp (会報誌専用)
- (2)郵便
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪市立大学内 田中記念館3階
大阪市立大学同窓会 会報誌編集委員会宛



掲載広告

阪和興業(株) -----	表2	(株)日本プリンティング -----	P.37
小野薬品工業(株) -----	P.7	山口法律会計事務所 -----	P.42
(株)京都銀行 -----	P.13	ダイヤモンドエレクトリックホールディングス(株)	P.42
(株)アシックス -----	P.15	弁護士法人なにわ共同法律事務所 -----	P.47
(株)ダイセル -----	P.15	(株)杉村倉庫 -----	P.48
三重交通グループホールディングス(株) -----	P.29	(株)Cominix -----	P.51
ツカキグループ -----	P.29	(株)ブライダル -----	P.52・53
ニシムラ(株) -----	P.29	医療法人福寿会 -----	表3
公認会計士 藤野正純事務所 -----	P.31	ニプロ(株) -----	表3

会報広告料金表(消費税込み)

サイズ	全ページ	半ページ	1/4ページ	1/8ページ
(単位:mm)	W181×H267	W181×H130	W181×H68・W86×H130	W86×H68
記事中(カラー)	180,000円	90,000円	50,000円	25,000円
表4(カラー)	230,000円	**	**	**
表2(カラー)	220,000円	**	**	**
表3(カラー)	200,000円	**	**	**

※本件についてのお問い合わせ

大阪市立大学同窓会 会報編集委員会 広報担当:吉原(商昭49卒)

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 Tel:06-6605-2113 Fax:06-6605-2088

編集後記

新しい元号での最初の会報誌。新大学法人も発足し、早速新理事長の西澤元学長に登場いただいた。今後の成り行きに注目して行きたい。来年は大学創立140周年を迎える様々な行事が予定されています。会報誌もフォローしていくと共に、いろいろな所で活躍されている同窓生を紹介し、幅広い同窓生に読まれる会報を目指しますので、読者の方からの情報や投稿をお待ちしています。
(編集人)

編集委員 (○印 編集責任者)

奥田 幸治郎 (文昭34卒)	前田 隆司 (法昭49卒)
羽原 顕三 (商昭38卒)	谷口 美樹子 (生昭50卒)
矢野 院一 (経昭38卒)	上村 修三 (商昭53卒)
○小林 俊介 (法昭44卒)	竹中敏実 (経昭49卒)
田中 祐尾 (医昭44卒)	田中 肇 (医昭57卒)
曾我部 健 (理昭45卒)	村上 芳子 (商昭58卒)
山本 孝 (工昭45卒)	安藤 根八 (創院平30修)
野田 忠男 (工昭45卒)	辻野 美由紀 (看院平22修)
吉原 純一 (商昭49卒)	溝田 真優子 (経平9卒)

医療法人 福寿会

(介護予防) 特定施設入居者生活介護
サービス付き高齢者向け住宅 福寿

“安心安全な介護で 笑顔の福寿”

ゆったりとした「二人部屋」もございます。

——ご夫婦で自由に、都会生活を楽しみませんか。

看護師常駐



入居者募集中

〒544-0004 大阪市生野区巽北2丁目13-14

Tel. 06-6752-2910

ふくじゅ

かねむら歯科医院

理事長 金村 福寿
歯学博士

大阪市立大学 有恒会 副会長
大阪市立大学 同窓会 大阪南支部 支部長
(大阪市立大学商学部昭和56年卒)
(朝日大学歯学部卒)

明海大学歯学部 非常勤講師
大阪歯科大学元非常勤講師
日本老年歯科医学会 専門医・指導医

専務理事 金村 光野
歯学博士 金村 直子
歯学博士 金村 優吾
医学博士 金村 晋吾
歯科医師 金村 裕貴
医学博士 金村 英利子
理事 金村 舜
理事 金村 寿之佑

〒544-0004 大阪市生野区巽北2丁目17-15

Tel. 06-6752-8148

ゴーツー ハイシャ

その技術は、人のために。



信頼の医療機器・医薬品
NIPRO

<https://www.nipro.co.jp/>

総合メディカル企業 |

● 医療機器事業

● 医薬事業

● フアーマパッケージング事業

● 再生医療事業





大阪市立大学 同窓会報

有恒 yuko